# 土木工事成績評定要領

平成27年4月1日

佐賀県県土づくり本部

# 目 次

1	佐賀県土木工事成績評定要領	• • •	Р	1
2	「工事成績採点表」記入における留意点	• • •	Р	2
3	別記様式第1 工事成績採点表(完成、中間)	• • •	Р	3
4	別記様式第2 細目別評定点採点表	• • •	Р	4
5	別記様式第3 工事成績評定表	• • •	Р	5
6	工種分類表	• • •	Р	6
7	考查項目別運用表(一般(主任)監督員)	• • •	Р	7
	1.施工体制	• • •	Р	7
	2.施工状況	• • •	Р	8
	3.出来形及び出来ばえ	• • •	Р	10
	5.創意工夫	• • •	Р	14
8	考查項目別運用表(主任(総括)監督員)	• • •	Р	15
	2.施工状況	• • •	Р	15
	4.工事特性	• • •	Р	16
	6.社会性等	• • •	Р	17
	7.法令遵守等	• • •	Р	18
9	考查項目別運用表(検査員)	• • •	Р	19
	2.施工状況	• • •	Р	19
	3.出来形及び出来ばえ(出来形)	• • •	Р	20
	3.出来形及び出来ばえ(品質)(出来ばえ)	• • •	Р	22
10	別紙-4 出来形及び品質のばらつきの考え方	• • •	Р	53
11	別紙 施工プロセスのチェックリスト	• • •	Р	54
12	提出様式-1 工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況	• • •	Р	57
13	提出様式-2 工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況(説明資料)		Р	60

## 佐賀県土木工事成績評定要領

(目的)

第1条 この要領は、佐賀県土木工事検査要領第9条に基づき、県土づくり本部の予算に係る土木工事の成績評定(以下「評定」という。)に必要な事項を定め、厳正かつ的確な評定の実施を図るとともに請負者の適正な選定及び指導育成に資することを目的とする。

## (評定者)

第2条 土木工事成績の評定者(以下「評定者」という。)は、当該工事の工事検査員及 び監督員とする。

## (評定の方法)

- 第3条 評定は、工事1件ごとに行うものとする。
- 2 評定は、監督又は検査により確認した事項に基づき、評定者ごとに的確かつ公正に行うものとする。
- 3 評定は、別途定める工事成績採点表によって行うものとする。

### (再評定)

第4条 評定後、法令尊守等で違反等の事実が判明した場合は、再評定を行うものとする。

### 附則

- この要領は、平成13年4月1日から施行する。
- この要領は、平成16年4月1日から施行する。
- この要領は、平成17年4月1日から施行する。
- この要領は、平成24年4月1日から施行する。
- この要領は、平成26年9月1日から施行する。
- この要領は、平成27年4月1日から施行し、平成27年4月1日以降の契約にかかる工事から適用する。

## 「工事成績採点表」記入における留意点

### 1 評定の対象

評定は、原則として全ての請負工事について行うものとする。 ただし、請負額250万円未満の工事及び維持工事等を除く。

### 2 評定の方法

- 1) 工事成績の採点は、別記様式第1「工事成績採点表」により行うものとする。
- 2) 細目別評定の算出は、別記様式第2「細目別評定点採点表」によるものとする。
- 3) 採点表の考査項目ごとの採点は、「考査項目別運用表」(別紙-1① $\sim$ )でチェック $\square$ が 2 連( $\square$  $\square$ )の 場合は、評価対象項目を選定(E $\square$ にチェック)し、その項目が良好の場合評定する(E $\square$ にチェック)。なお、チェック $\square$ が 1 個の場合は該当する場合に評定する(E $\square$ にチェック)。
- 4) 評定結果は、別記様式第3「工事成績評定表」に記録するものとする。
- 5) 評定にあたっては、別紙-1「施工プロセスのチェックリスト」を考慮するものとする。 また、工事における「工事特性」、「創意工夫」、「社会性等」に関しては、請負者は当該工事にお ける実施状況(提出様式-1,2)により提出できるものとし、提出があった場合はこれも考慮するも のとする。
  - なお、発注者は「特記仕様書」に提出することができる旨を記載し、評定に当たっては別表を参考とする。
- 6) 検査員の「出来形及び出来ばえ」中の「品質」及び「出来ばえ」は、主たる工種による評価とする。ただし、複数の工種での評価が必要な場合は主たる3工種までを選択することができる。
- 7) 総合評価技術提案の技術提案履行確認で、提案事項の不履行が確認された場合は、「工事成績 採点表」で不履行を選択し、総括(主任)監督員の評定「7. 法令遵守等」の項目で減点を行う。

2

### 「特記仕様書記載例」

請負者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または 地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事打合せ簿等の書式で 所定の様式により提出することができる。

## (別表)工事特性・創意工夫・社会性等の評定

項目	評 価 項 目	評 定 のポイント
工事	I 施工条件等への対応	提出された様式―2 の記載内容を次の項目で
特性	I 構造物の特殊性への対応	評価する。
	Ⅱ都市部等の作業環境、社会条件等への対応	① 提案する背景
	Ⅲ厳しい自然・地盤条件への対応	② 特殊な環境下での具体的な対処の内容
	IV長期工事における安全確保への対応	③ 特殊な環境下で、特に苦労した点
創意	I 創意工夫	提出された様式―2 の記載内容を次の項目で
工夫	•施工	評価する。
	•品質	① 取り組みを必要とした背景
	•安全衛生	② 取組の目的
社会	I地域への貢献等	③ 具体的な取り組みの内容
性等		④ 取組後の効果

## 工 事 成 績 採 点 表 (完成、中間)

工事名											契約	的金額(占	最終)							円	発注	機関					
請負業者名								工期				平	成年	- 月	日~平	成	年 月	日			完成年	年月日		平成	年 .	月日	
	考 査 項 目		一般	(主任)	监督員				主任	(総括)盟	监督員					検査	員(中間	倹査)					検査	員(完成	検査)		
	与 且 惧 口	氏	名				氏 名					氏	名						氏 名								
項目	細別	a	b	С	d	е	a	a'	b	b'	С	d	е	a	a'	b	b'	С	d	е	a	a'	b	b'	С	d	е
1. 施工体制	I. 施工体制一般	1.0	0.5	0	-5.0	-10.0																					
1. 加巴工 [平1]]	Ⅱ. 配置技術者	3.0	1.5	0	-5.0	-10.0																					
	I. 施工管理	4.0	2.0	0	-5.0	-10.0								5.0	3.5	2.5	1.5	0	-7.5	-15	5.0	3.5	2.5	1.5	0	-7.5	-15
2. 施工状況	Ⅱ. 工程管理	4.0	2.0	0	-5.0	-10.0	4.0	3.0	2.5	1.0	0	-7.5	-15.0														
2. // 1/1/1/1	Ⅲ. 安全対策	5.0	2.5	0	-5.0	-10.0	5.0	4	3.5	2.0	0	-7.5	-15.0														
	IV. 対外関係	2.0	1.0	0	-2.5	-5.0																					
0 11147777	I. 出来形	4.0	2.0	0	-5.0	-5.0								10.0	7.5	5.0	2.5	0	-10.0	-20.0	10.0	7.5	5.0	2.5	0	-10.0	-20.0
3. 出来形及 び出来ばえ	Ⅱ. 品質	5.0	2.5	0	-5.0	-5.0								15.0	12.0	7.5	4.0	0	-12.5	-25.0	15.0	12.0	7.5	4.0	0	-12.5	-25.0
	Ⅲ. 出来ばえ													5.0	3.5	2.5	1.5	0	-5		5.0	3.5	2.5	1.5	0	-5	
4. 工事特性	I. 施工条件等の対応※2							16.0~0																			
5. 創意工夫	I. 創意工夫 ※3		7.0~0																								
6. 社会性等	I. 地域への貢献等						10.0	7.5	5.0	2.5	0																
加減点合計(1	+2+3+4+5+6)					点							点							点							点
評定点(65+加	減点合計)※1	1				点	2						点	3						点	4						点
							〇中間:	技術検査	こがあって	た場合:(	(I)	点×0.4	4+2	点×0	.2+3	点×	0.2+4	点》	< 0.2)=	点							
評定点計						点					※但し、	. ③は中	間技術権	食査が2回	回以上の	場合は	平均値										
							〇中間:	技術検査	こがなか.	った場合	·:(①	点×	0.4+2	点>	<0.2+4	点	$\times 0.4) =$	点									
7. 法令遵守等	<b>等 ※</b> 7												点														
評定点合計	<b>%</b> 8					点	○評定.	点計(				点)-	法令遵	守等(		点)			点								
8. 総合評価 技術提案	技術提案履行確認 ※9								履行	不履行	対象外																
所	見 ※5		主任) 監督				主任(総	総括)監督						検査員							検査員						

<sup>※1 65</sup>点+1.~3.の評定(加減点合計)+4.~6.の評定(加点合計)=評定点 各評定点(①~④)は少数第1位まで記入する。

- ※2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。 評価に際しては、一般(主任)監督員からの報告を受けて主任(総括)監督員が評価するものとする。
- ※3 創意工夫は、工事特性のような難度を伴わない工事において、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があった場合にに評価する項目である。
- ※4 4,5,6は加点評価のみとする。また、法令遵守等は減点のみとする。
- ※5 所見は必ず記載する。
- ※6 各考査項目ごとの採点は、考査項目別運用表によるものとし、検査員(完成)の評価に先立ち、一般(主任)、主任(総括)監督員が行う。
- ※7 法令遵守等の評価は、主任(総括)監督員が行う。
- ※8 評定点合計は、四捨五入により整数とする。
- ※9 総合評価技術提案は、技術提案の履行が確認できない場合は『不履行』を選択する。

## 細目別評定点採点表

考察項目	細別	①一般(主任)監督員	②主任(総括)監督員	③検査員(中間)	③検査員(完成)	細目別評定点	得点 割合
1. 施工体制	I. 施工体制一般	( )×0.4+2.9= 点				/3. 3点	%
1. 爬工件削	Ⅱ. 配置技術者	( )×0.4+2.9= 点				/4. 1点	%
	I. 施工管理	( )×0.4+2.9= 点		( )×0.4+6.5= 点	( )×0.4+6.5= 点	/13. 0点	%
0 # T # 7	Ⅱ. 工程管理	( )×0.4+2.9= 点	( )×0.2+3.2= 点			/8. 5点	%
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	( )×0.4+2.9= 点	( )×0.2+3.3= 点			/9. 2点	%
	IV. 対外関係	( )×0.4+2.9= 点				/3. 7点	%
	I. 出来形	( )×0.4+2.8= 点		( )×0.4+6.5= 点	( )×0.4+6.5= 点	/14. 9点	%
3. 出来形 及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	( )×0.4+2.9= 点		( )×0.4+6.5= 点	( )×0.4+6.5= 点	/17.4点	%
Щжи	Ⅲ. 出来ばえ			( )×0.4+6.5= 点	( )×0.4+6.5= 点	/8. 5点	%
4. 工事特性	I. 施工条件等への 対応		( )×0.2+3.3= 点			/6. 5点	%
5. 創意工夫	I. 創意工夫	( )×0.4+2.9= 点				/5. 7点	%
6. 社会性等	I. 地域への貢献度		( )×0.2+3.2= 点			/5. 2点	%
7. 法令尊守等			( )×1.0= 点				%
-	·				おみ ヒヘコ	/100 H	

評定点合計 /100点

8. 総合評価	技術提案履行確認	履行 不履行 対領	象外	
技術提案	<b>汶州促杀限</b> 11 唯祕	<b>限1」个限1」</b> 刈 ៖	<i>柔ク</i> ト	

※中間技術検査があった場合 中間技術検査がなかった場合

(①+②+③×0.5+④×0.5) = 細目別評価点(中間技術検査が2回以上の場合は③を平均する) (①+②+④) = 細目別評価点

※得点割合は、細目評定点の合計に対する得点の割合を百分率で示す。

※総合評価技術提案は、技術提案の履行が確認できない場合は、『不履行』を選択する。

## 工事成績評定表

## 発注機関名:

<b>工</b> 畫或 []		Entra		н						
工事番号		第		号						
工事名										
契約金額	当初					最終				
工期	当初	平成	年	月	日	最終	平成	年	月	日
完成年月日	平成	年	月	日						
完成検査年月日	平成	年	月	日						
	第1回		年	月	日	第4回		年	月	日
中間検査年月日	第2回		年	月	日	第5回		年	月	日
	第3回		年	月	日	第6回		年	月	日
請負者氏名										
現場代理人氏名										
主任・監理技術者氏名										
一般(主任)監督員所属・氏名										
主任(総括)監督員所属・氏名										
完成検査員所属・氏名										
第1回中間 検査員所属・氏名										
第2回中間 検査員所属・氏名										
第3回中間 検査員所属・氏名										
①一般(主任)監督員評定点						点				
②主任(総括)監督員評定点						点				
③中間検査員評定点						点				
④完成検査員評定点						点				
⑤法令遵守等						点				
⑥評定点合計						点				

### 注

1)中間検査があった場合

評定点合計 ⑥=(①×0. 4+②×0. 2+③×0. 2+④×0. 2)-⑤ 中間検査がなかった場合

評定点合計  $6=(1)\times 0$ .  $4+2\times 0$ .  $2+4\times 0$ . 4)-5

- 2) 中間検査が2回以上あった場合、評定点は中間検査を合わせた平均点を記入する。
- 3) 一部完成の場合は、一般(主任)監督員、主任(総括)監督員及び検査員が各々評定を行い、完成の際に、完成検査時の評定点と金額により加重平均を行い記入する。
- 4) 一般(主任)監督員、主任(総括)監督員、検査員の評定点は小数第1位までとする。
- 5) 評定点合計は、四捨五入により整数とする。
- 6) ⑤法令遵守等は、主任(総括)監督員が記入する。

## 工種分類表

<u> </u>	里刀 規衣				40	() (=) [	rt. For F1					- H	/&\\ Let\ \ 1	T/L EV			1.4.	L. H	
			一般(主任)監督員 主任(総括)監督員 出来形及び出来ば しゅうしゅ リンフ・リンフ・リンフ・リンフ・リンフ・リンフ・リンフ・リンフ・リンフ・リンフ・										検査員						
番号	工   種	施工	体制		施工	.状況		田米形及(	プ田米は	創意工夫	施工	.状況	工事特性	社会性等	法令遵守	施工状況	出来	形及び出来	ミばえ
ш ,	<u> </u>	施工体制	配置技術	施工	工程	安全	対外	出来形	品質	創意	工程	安全	施工条件	地域への	法令遵守	施工	出来形	品質	出来
		一般	者	管理	管理	対策	関係			工夫	管理	対策	等	貢献等	等	管理			ばえ
	コンクリート構造物工事	別表-1①	別表-1①	別表-1②	別表-1②	別表-1③	別表-1③	別表-1④	別表-1⑥	別表-1⑧	別表-2①	別表-2①	別表-2②	別表-2③	別表-2④	別表-3①	別表-3②	+	
	土工事 (盛土、堤防等工事)	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	別表-3⑤	別表-3⑤
	土工事(切土)	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	護岸・根固・水制工	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	別表-3⑥	
	鋼橋工事	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	別表-3⑦	
6	砂防構造物工事	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	別表-3⑧	別表-3⑧
7	地すべり防止工	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
8	舗装工事	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	別表-3⑨	別表-3⑨
9	法面工事	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	別表-3⑩	別表-3⑩
10	基礎工事及び地盤改良工事	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	別表-3⑪	別表-3⑪
11	海岸工事	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	別表-3⑫	別表-3⑫
12	コンクリート橋 上部工事	"	"	"	11	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	別表-313	別表-3⑬
	塗装工事	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	別表-3個	別表-3個
	トンネル工事	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	別表-3⑤	別表-3億
	植栽工事	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	別表-3億	別表-3億
	防護柵(網)設置工事	"	"	"	"	"	"	"	"	"	11	"	"	"	"	"	"	別表-3①	別表-3⑰
	標識工設置工事	11	"	"	"	"	"	"	"	"	11	"	"	"	"	"	"	"	"
	区画線工事	11	"	"	"	"	"	"	"	"	11	"	"	"	"	"	"	"	"
	電線共同溝工事	"	"	"	"	"	"	"	"	"	11	"	"	"	"	"	"	別表-318	別表-318
	維持工事	11	"	"	"	"	"	"	別表-1⑦	"	11	"	"	"	"	"	"	別表-319	
	修繕工事	"	"	"	"	"	"	"	"	"	11	"	"	"	"	"	"	別表-320	別表-320
	機械設備工事	//	"	"	"	"	"	"	別表-1⑥	"	"	"	"	"	"	"	"	別表-3(21)	
	電気設備工事	//	"	"	"	"	"	別表-1⑤	別表-1⑦	"	"	"	"	"	"	"	別表-3③	別表-3(22)	別表-3(22)
	通信設備工事・受変電設備工事	//	"	"	11	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	別表-3(23)	別表-3(23)
	ため池工事	//	"	"	"	"	"	別表-14	別表-16	"	"	"	"	"	"	"	別表-3②	別表-3(24)	別表-3(24)
	ほ場整備工事	//	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	別表-3(25)	別表-3(25)
	農地造成工事	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	別表-3(26)	別表-3(26)
	管水路工事	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	別表-3(27)	別表-3(27)
	港湾築造工事、港湾浚渫工事	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"		
	建築工事	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	別表-3(29)	
31	下水道工事	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"		別表-3(30)
32		"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	別表-3(31)	
	浚渫工事	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	別表-3(32)	
34		"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"		別表-3(33)
35		"			,,	,,				"						.,		3.132 0 (00)	7,132 0 (00)
_ 30																			
Ь												<u> </u>							

「記入方法〕該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	ンマークを記入する。 <b>a</b>	b	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		「評価対象項目」 「施工プロセス」チェックリストのうち、施コー② 施工計画書を、工事着手前に提出している。 □③ 作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体系 □⑤ 元請が下請の作業成果を検査している。 □⑥ 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。 □⑥ 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。 □⑤ 規場に対する本店や支店による支援体制を整えの。 □⑤ 北場製作期間における技術者を適切に配置している。 □⑥ 機械設備、電気設備等について、製作工場によるの他 理由:		□ 施工体制一般に関して、監督 職員が文書による改善指示を 行った。	□ 施工体制一般に関して、監督職員 からの文書による改善指示に従わ なかった。	
		●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・ b 評価値が80%未満・・・ c				
	Ⅱ. 配置技術者	a	b	С	d	е
	(現場代理人等)	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		「評価対象項目」 【全体を評価する項目】 □□①「施工プロセス」のチェックリストのうち、面 □② 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任 【現場代理人を評価する項目】 □□③ 現場代理人が、工事全体を把握している。 ② 設計図書と現場との相違があった場合は、監督職員への報告を適時及び的確に行っている 【監理(主任)技術者を」評価する項目】 □□⑥ 書類を共通仕様書及び諸基準に基づき適切に作 □② 契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理判 □□⑧ 施工上の課題となる条件(作業環境、気象、均 □□⑨ 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的 □□⑩ その他 理由: ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・   評価値が80%以上90%未満・・   財価値が80%未満・・・   京	E及び配置している。  F職員と協議するなどの必要な対応を行っている。  に成し、整理している。  異し、施工に反映している。  也質等) への対応を図っている。  力な指導を行っている。  「技術的な判断を行っている。  ① 当該「評価対象項目」のうち、対象と	しない項目は削除する。 目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。 /評価対象項目数 ( )	□ 配置技術者に関して、監督職員が文書による改善指示を 行った。	□ 配置技術者に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。

(一般(主任)監督員)

## 別表 - 1② (一般 (主任) 監督員) **考查項目別運用表**

考査項目 細 別	a	b	c	d	е		
2. 施工状況 I 施工管理	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である		
	「評価対象項目」 □① 「施工プロセス」のチェックリストのうち、が □② 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映し □③ 現場条件の変化に対して、適切に対応している □④ 工事材料の品質に影響が無いよう保管している。 □⑤ 日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画書に □⑦ 現場内の整理整頓を日常的に行っている。 □③ 指定材料の品質証明書及び写真等を整理している。 □⑥ 工事打合せ簿を、不足無く整理している。 □⑩ 建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行 □⑪ 工事全般において、低騒音型、低振動型、排出 □⑪ その他( 理由: ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・ b 評価値が80%未満・・・ c	したものとなっている。 5。 5。 5。 5。 5。 音に基づき適時及び的確に行っている。 こ基づき適時及び的確に行っている。 いる。 引力ス対策型の建設機械及び車両を使用している。 ① 当該「評価対象項目」のうち、対象とし	。 ない項目は削除する。 数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 /評価対象項目数 ( )	□ 施工管理に関して、監督職員 が文書による改善指示を行っ た。	□ 施工管理に関して、監督職員から の文書による改善指示に従わな かった。		
		①340、自1所区7月 圖713、東日377 2 - 東日2	A I VO MO LITA CELIMIC 7 SO				
Ⅱ工程管理	<u>a</u>	b	C	d	e		
	適切である 「評価対象項目」 「施工プロセス」のチェックリストのうち、コー② 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反こ。 実施工程表の作成及びフォローアップを行っている。 時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応□⑥ 工事の進捗を早めるための取り組みを行ってい□⑦ 適切な工程管理を行い、工程の遅れが無い。□⑧ 休日の確保を行っている。 □⑨ 計画工程以外の時間外作業がほとんど無い。□⑩ の他 理由:  ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・ b 評価値が80%未満・・・ c	で映した工程表を作成している。 ごおり、適切に工程を管理している。 の停滞が見られない。 ごが適切であり、大きな工程の遅れが無い。 いる。 ① 当該「評価対象項目」のうち、対象とし	数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 /評価対象項目数 ( )	やや不適切である □ 工程管理に関して、監督職員 が文書による改善指示を行っ た。	不適切である  □ 工程管理に関して、監督職員から の文書による改善指示に従わな かった。		

## 別表 - 1 ③ (一般 (主任) 監督員) **考查項目別運用表**

考査項目	細別	a	ь	С	d	е
2. 施工状況 I	Ⅱ. 安全対策	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		「評価対象項目」 「施工プロセス」のチェックリストのうち、多一② 災害防止協議会等を1回/月以上行っている。 ③ 安全教育及び安全訓練等を半日/月以上実施し ③ 新規入場者教育の内容に、当該工事の現場特性 □⑤ 工事期間を通じて、労働災害及び公衆災害が多。 □⑥ 假設工の点検及び管理を、チェックリスト等を □⑥ 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係 □⑥ 地下理設物及び架空線等に関する事故防止対策 □⑩ セの他 理由: ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・ b 評価値が80%未満・・・ c	している。 注を反映している。 各生しなかった。 と用いて実施している。 係者間の協議に基づき実施している。 管に取り組んでいる。 ① 当該「評価対象項目」のうち、対象と	目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する /評価対象項目数 ( )	□ 安全対策に関して、監督職員 が文書による改善指示を行っ た。	□ 安全対策に関して、監督職員から の文書による改善指示に従わな かった。
		a	d	e		
I	V. 対外関係	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		「評価対象項目」 □□① 「施工プロセス」のチェックリストのうち、対 □□② 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。 □□④ 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対 □□⑥ 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り系 □□⑥ 工事の目的及び内容を、工事看板などにより出 □□⑦ その他 理由: ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・ 評価値が80%以上90%未満・・ b 評価値が80%未満・・・ c	対外関係について指示事項が無い。 Eが無い。 対して適切な対応を行っている。 且んでいる。 地域住民や通行者等に分かりやすく周知してい ① 当該「評価対象項目」のうち、対象と	いる。 しない項目は削除する。 目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する /評価対象項目数 ( )	□ 対外関係に関して、監督職員 が文書による改善指示を行っ た。	□ 対外関係に関して、監督職員から の文書による改善指示に従わな かった。

## 別表 - 1 ④ (一般 (主任) 監督員) **考査項目別運用表** (一般 (主任) 監督員)

考査項目	細 別	a	b	c	d	е
3. 出来形 及び 出来ばえ I. 出来形				所定の測定基準に基づき行われており、測定	□出来形の測定方法又は測定値が不 適切であったため、監督職員が文書 で改善指示を行った。	□契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
1. 西米形		※ばらつきの判定は別紙一4参照。		<u> </u>		
		① 出来形の評定は、工事全般を通じて評定するも② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」のの出来形を確保する管理体系であるが、当該管職員と協議の上で出来形管理をおこなうもので、出来形管理項目を設定していない工事は「c」				
	機械設備工事	a	b	c	d	е
	※上記欄によら ず、当該欄で評価	適切である 「評価対象項目」 □□① 据付に関する出来形管理が容易に把握できるようと、	F容範囲内である。 「いる。 こついて、監督職員と協議の上で管理している。 いる。 いる。 いる。 い。 こついて、整備前と整備後の劣化状況及び回復なる。 ① 当該「評価対象項目」のうち、対象とし ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目	他の評価に該当しない 犬況を図表等に記録している。 ない項目は削除する。 数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 /評価対象項目数 ( )	□ 出来形の測定方法又は測定値が不 適切であったため、監督職員が文 書で改善指示を行った。	□ 契約書第17条に基づき、監督職 員が改造請求を行った。

別表 — 1 ⑤ (一般(主任)監督員) **老本百日以選用** 

		考査項目別運用表				
考査項目	細別	a	b	c	d	e
3. 出来形	電気通信設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない		
及び	通信設備工事・受	「評価対象項目」				□ 契約書第17条に基づき、監督職
出来ばえ	変電設備工事	□□① 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよ		ている。	適切であったため、監督職員が文	員が改造請求を行った。
		□□② 機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図	引表などに記録され、適切に管理している。		書で改善指示を行った。	
I. 出来形	NAZ I PORTURA - N. N.	□□③不可視部分の出来形を写真撮影している。				
	※上記欄によら	□□④ 設計図書で定められていない出来形管理項目に				
	ず、当該欄で評価					
		□□⑥設備の据付及び固定方法が設計図書又は承諾図	-			
		□□⑦配管及び配線が、設計図書又は承諾図書通りに				
		□□⑧測定機器のキャリブレーションを、定期的に実				
		□□◎ 行先などを表示した名札がケーブルなどに分か		era de or		
		□□⑩配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について	、、設計凶者の任様を両足していることが確認	<b>できる。</b>		
		□□⑩ 社内の管理基準に基づき管理している。 □□⑩ その他				
		理由:				
		●判断基準			1	
		●刊刷差単 評価値が90%以上・・・・・・ a	① 当該「評価対象項目」のうち、対象とし	たい頂日は削除する		
		評価値が80%以上90%未満・・ b		数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。	Ш	
		評価値が80%未満・・・ c	③ 評価値(%)=該当項目数()		`II	
		HI IIII IE A O O /O/NIM	④なお、削除後の評価対象項目数が2項目			
			O 3.1.1, 13.1.1.2.1.1.1.1.1.3.1.7.1.3.1.7.1.3.1.7.1.3.1.7.1.3.1.1.1.1	2.1 - 20 El 12.2 - El 1841 - 7 00		
					╣	
					I .	·

## 別表 - 1 ⑥ (一般 (主任) 監督員) **考查項目別運用表**

考査項目	細 別	a	ь	c	đ	e
3. 出来形 及び 出来ばえ		□品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内であ	が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の	□品質の測定が、必要な測定項目について所 定の測定基準に基づき行われており、測定値 が規格値を満足し、a、bに該当しない。		□契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
Ⅱ. 品質		ა.	概ね80%以内である。			
		※ばらつきの判定は別紙―4参照。		1		
		① 品質の評定は、工事全般を通じて評定するもの ② 品質とは、設計図書に示された工事目的物の表 品質管理とは、「土木工事施工管理基準」の意 ③ 段階における品質確保のため管理体系である。 いては、監督職員と協議の上で品質管理を行	見格である。 太験項目、試験基準及び規格値に基づく全ての なお、当該管理基準によりがたい場合等につ			
		④ 品質管理項目を設定していない工事は「c」計	平価とする。			
	機械設備工事	a	b	С	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	□品質関係の測定方法又は測定値が	□契約書第17条に基づき、監督職
	※上記欄によら ず、当該欄で評価	「評価対象項目」 □□① 材料、部品の品質照合の書類(現物照合)の確 □□② 設備の機能及び性能を、承諾図書のとおり確 □□③ 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、項 □④ 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足し □⑤ 溶接管理基準の品質管理項目について規格値を □□⑥ 操作制御設備の安全装置及び保護装置が承諾。 □□⑥ 操作制御設備の安全装置及び保護装置が承諾。 □□⑩ 小配管、電気配線・配管が、承諾図書のとおり □□⑩ 於備の取扱説明書を工夫している。 □□⑪ 完成図書(取扱説明書)に定期的な点検及び20億機器の配置が点検しやすいよう工夫している。 □□⑪ 設備の構造や機器の配置が、部品等及び熱験練りが3回。 □□⑪ 一一0億計器類に運転時の適用を見やすく表示して、適計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示して。 □□⑪ 財器類に運転時の適用節所に表示又は防護を同・□・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Rしている。 K	る。 ない項目は削除する。 数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 /評価対象項目数 ( )	不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	真が成足maへと1jりた。

## 別表 - 1 ⑦ (一般 (主任) 監督員) **考査項目別運用表**

考査項目	細別	a	b	С	d	е
3. 出来形	電気通信設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない		
出来ばえ Ⅱ. 品質		「評価対象項目」 □□① 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検□□② 材料、部品の品質照合の結果が、品質保証書等□□③ 機器の品質、機能及び性能が、設計図書を満足	(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の付	仕様を満足している。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が 不適切であったため、監督職員が 文書で改善指示を行った。	□ 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
	ず、当該欄で評価	□①① 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置 □③ ケーブル及び配管の接続などの作業が施工計画 □③ 設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足し □② 操作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足し □③ 現場条件によって機器(製品)の性能及び性能 □⑩ 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及 □□② 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作 □□③ 報価の構造において、点検や消耗品の取替え作 □□③ 書面に □□③ 書面に	され、操作性に優れている。 打書に記載された手順に沿って行われ、不具合っている。 ているとともに、必要な安産装置及び保護装にいる。 が確認できない場合において、工場試験など、 (修繕(改造・更新含む)の場合は、修繕又は、 び箇所を明示している。 業が容易にできるよう工夫している。	置の動作が確認できる。 で確認している。 更新)している。  まない項目は削除する。 数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 /評価対象項目数 ( )		
	維持・修繕工事	a	<u>b</u> ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	d	e
	※上記欄によらず、当該欄で評価	適切である 「評価対象項目」 常に緊急的な作業に対応できる体制を整えてい □② 緊急的な作業に対し、迅速に対応している。 □③ 監督職員の指示事項に対し、現地状況を勘案し ・施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイ □⑤ 理由: □ 理由: □ 理由: □ 理由: □ *** 理由: □ ***	□ 品質関係の測定方法又は測定値が 不適切であったため、監督職員が 文書で改善指示を行った。	□ 契約書第17条に基づき、監督職 員が改造請求を行った。		

## 別表 - 1 ⑧ (一般 (主任) 監督員) **考査項目別運用表** (一般 (主任) 監督員)

頁目	細別		工夫事項
意工夫 :	I . 創意工夫	【施工】	【その他】
		□① 施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備据付後の	
		□② コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫。	理由:
		□③ 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工	
		□④ 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する	
		□⑤ 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配線で	
		□⑥ 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍綿	
		□⑦ 照明などの視界の確保に関する工夫。 (5世 h / 1777年 1777	□ その他 理由:
		□⑧ 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫。	煙口
		□⑨ 運搬車両、施工機械等に関する工夫。	□その他
		□⑩ 支保工、型枠工、足場工、仮桟橋、覆工板、山留め等の仮設□ □⑪ 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫。	関する工大。 ローロット 理由:
		血型が動画度、低の配工商と等の管理に関する工夫。  □型が正計画書の作成、写真の管理等に関する工夫。	절표.
		□③ 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫。	□その他
		□⑭ 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫。	理由:
		□⑤ ICT (情報通信技術)を活用した情報化施工を取り入れた	
		※本項目は2点の加点とする。	<sup>-</sup> ° □ その他
		□⑯特殊な工法や材料を用いた工事。	理由:
		□⑩ 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事。	
		【品質】	
		□22 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫。	
		□23 □ンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。	7.7.4
		□24 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に □25 配筋、溶接作業等に関する工夫。	る工大。
		125   配筋、溶接作業等に関する工大。   【安全衛生】	
		□26 建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育を	を
		※本項目は2点の加点とする。	
		□27 安全を確保するための仮設備等に関する工夫。(落下物、墜落	転洛、挟まれ、看板、立人禁止柵、手摺り、足場等)
		□28 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等に関する工夫。	
		□29 現場事務所、労務者宿舎等の空間及び設備等に関する工夫。	ない。明治・ステナ
		□30 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の打 □31 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関	
		□32   厳しい作業環境の改善に関する工夫。	)-1/20
		□33 環境保全に関する工夫。	
	記載評価		評価】工夫の内容及び具体的内容を記載
	(レマークを付け	評点: 点	
	た評価内容を詳細 記述)		
P	□ <u>^</u> _/		

- ※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。
- ※2. 評価は各項目において1つレ点が付されれば1,2,4点で評価し、最大7点の加点評価とする。
- ※3. 該当する数と重みを勘案して評定する。1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。
- ※4. 上記の考察項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体の内容を記載して加点する。

## 考査項目別運用表

(主任(総括)監督員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。											
考査項目	細 別	a	a'	b	b '	c	d	e			
2. 施工状況	Ⅱ. 工程管理	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている			
		「評価対象項目」 □① 隣接する他の工事などとの□② 地元及び関係機関との調整(□③ 工程管理を適切に行なった。□④ 工程管理に係る積極的な取。□⑤ 災害復旧工事など特に工期自□⑥ 工事施工箇所が広範囲に点でその他 理由:	こ取り組み、遅れを発生させことにより、休日や夜間工事 り組みが見られた。 りな制約がある場合において	ることなく工事を完成させた の回避等を行い、地域住民に 、余裕をもって工事を完成さ	こ。 こ公共工事に対する好印象を させた。	与えた。	□工程管理に関して、監督職 員が文書による改善指示を 行った。	□工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。			
		●判断基準 該当項目が4項目以上・・ 該当項目が3項目以上・・ 該当項目が2項目以上・・ 該当項目が1項目以上・・ 該当項目がなし・・・・									
	Ⅲ. 安全対策	a	a'	b	b'	c	d	е			
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている			
		「評価対象項目」  ①① 建設労働災害及び公衆災害の ② 安全衛生を確保するための ③ 安全衛生を確保するため、( ① 安全対策に関する技術開発 ⑤ 安全協議会での活動に積極的 ⑤ 安全対策に係る取り組みがは ② その他 理由:	管理体制を整備し、組織的に 也の模範となるような活動に や創意工夫に取り組んだ。 内に取り組んだ。	取り組んだ。			□安全対策に関して、監督職 員が文書による改善指示を 行った。	□安全対策に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わな かった。			
		●判断基準 該当項目が4項目以上・・ 該当項目が3項目以上・・ 該当項目が2項目以上・・ 該当項目が1項目以上・・ 該当項目がなし・・・・	• • • • a' • • • • b • • • • b'								

別表-2②

老杏頂日	細型目	<b>考登4月別連用表</b> 対応事項	【事例】	具体的が施丁条件等への対応策	(王仕 (総括) 監督貝)
	細 別 I 施工条件等への 対応	対応事項 I構造物の特殊性への対応 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模が特殊な工事 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事 その他 理由: ※上記の対応事項に1つ以上レ点がつけば3点の加点とする。	(①. について) 切土の土工量 20万m3以上 盛土の土工量 15万m4以上 護岸・築堤の平均高さ 10m以上 トンネル (シールド) 直径 8m以上 ダム用水門 設計水深25m以上 樋門・樋管の内空断面 15㎡以上 揚排水機場の吐出管径 2000mm以上 堰又は水門の最大径間長25m以上 堰又は水門の扉体面積50㎡/門以上 トンネル (別別) 内空平均断面積 100㎡以上 トンネル (以別) 内空平均断面積 100㎡以上 トンネル (沈埋工法) の内空平均断面 300㎡以上 海岸堤防、護岸、突堤又は離岸堤の水深 10m以上 地滑り防止工 幅100m以上かつ法長150m以上 速深工の浚渫土量 100万m3以上 流路工の計画を置 500m3以上 流路工の計画高水量 500m3以上 砂防ダムの堤高 30m以上 野がの堤高 150m以上 転流トンネルの流下能力 400m3/s以上 橋梁下部工の高さ 30m以上	具体的な施工条件等への対応策 (②. について) ・砂防工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。 ・鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事。 ・供用中の道路トンネルの拡幅工事。	対応が特に必要な工事 ・その他、技術固有の難しさへの対 応が必要である工事。
		■都市部等の作業環境、社会条件等への対応 地盤の変形、 近接構造物、 地中埋設物への影響に配慮する工事 周辺環境条件により、 作業条件、 工程等に大きな影響を受ける工事 周辺住民等に対する騒音・ 振動を特に配慮する工事 現道上での交通規制に大きく影響する工事 緊急時に対応が特に必要な工事 施工箇所が広範囲にわたる工事 その他 理由: ※上記の対応事項に1つ以上レ点がつけば5点の加点とする。	橋梁上部工の最大支間長 100m以上 (④) について) ・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。 ・市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 ・監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。 (⑤) について) ・ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。 ・地元調整や環境対策などの制約が特に多い工事。 ・老のほか各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事。	事。 ・工事期間中の大半にわたって、交	(⑩. について) ・ 施エヤードの広さや高さに制限があり、 機械の使用など施工に制約を受けた工事。 ・ その他、周辺環境又は社会条件へ
		 Ⅲ厳しい自然・地盤条件への対応 特殊な地盤条件への対応が必要な工事 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事 その他 ※上記の対応事項に1つ以上レ点がつけば3点の加点とする。	(⑪. について) ・河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。 ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要が生じた工事。 (⑫. について) ・海岸又は河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 ・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。	業床の設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった 工事(法面工は除く)・ ・斜面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。・ ・土石流危険渓流に指定された区域内における工事 (値.について)・イヌワシ等の猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事	の対応が必要であった工事。 ・その他、災害等における臨機の措 置のうち特に評価すべき事項が認め
	評価	IV長期工事における安全確保への対応 12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事(全面一時中止期間は除く) ※但し、文書注意に至らない事故は除く。 その他( ) ※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば5点の加点とする。 評点: 点			

<sup>※1</sup> 工事特性は、最大16点の加点評価とする。

(主任(総括)監督員)

		レマークを記入する。					
考査項目	細別	а	a'	b	b'	С	
6. 社会性等	I. 地域への貢献	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	
	<del>等</del>	「評価対象項目」					
		□① 周辺環境への配慮に積極的	に取り組んだ。				
		□② 現場事務所や作業現場の環		かせるなど、積極的に周辺地	域との調和を図った。		
		□③ 定期的に広報紙の配布や現:	場見学会等を実施して、積極	室的に地域とのコミュニケー	ションを図った。		
		□④ 道路清掃などを積極的に実	施し、地域に貢献した。				
		□⑤ 地域が主催するイベントへ	積極的に参加し、地域とのコ	「ミュニケーションを図った			
		□⑥ 災害時などにおいて、地域・	への支援又は行政などによる	救援活動への積極的な協力	を行った。		
		□⑦ その他					
		理由:					
		●判断基準					
		該当項目が4項目以上・・					
		該当項目が3項目以上・・					
		該当項目が2項目以上・・					
		該当項目が1項目以上・・					
		該当項目がなし・・・・・	· · · · c				
1	1						

考査項目別運用表

(主任(総括)監督員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	法令遵守等の該当項目・	一覧表					
7. 法令遵守等							
	措置内容	点数					
	□① 指名停止3ヶ月以上	-20点					
	□② 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点					
	□③ 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点					
	□④ 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点					
	□⑤ 文書注意	-8点					
	□⑥ 口頭注意	-5点					
	□⑦ 工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、ロ頭 注意以上の処分が行われなかった場合	-3点					
	□⑧ その他 理由:	-点					
	日本   1   1   1   1   1   1   1   1   1						
	I 本考査項目 (7.法令遵守等)で評価する事例は、施工にあたって工事関係者が下記の適応事例で上表の措置か Ⅱ 「施工」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。	ぶあった場合に適用する。					
	Ⅲ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び当該工事にあたって下請契約し、それを履行するために従事する者に限定する。 Ⅳ 総合評価落札方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、⑧. その他の項目で減ずる措置を行う。 【上記で評価する場合の適応事例】 1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。						
	<ul><li>2. 承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。</li><li>3. 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。</li></ul>						
	4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明し 5. 当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。 6. 一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。	λTC。					
	7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。 8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。						
	9. 監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。 10. 下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減じているなど下請代金支払遅延等防止法第4: 11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。	条に規定する親事業者の遵	<b>宇</b> 守事項に違反する行為がある。				
	12. 受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業 13. 下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関す の受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。	舎弟等の暴力団関係者がいる法律」第9条に記されて	へることが判明した。 「いる砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマン				
	14. 安全管理が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆損害事故	を起こした。 					

## 考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(検査員)

考査項目	細 別	a	a'	b	b '	c	d	е
2. 施工状況	I. 施工管理	優れている	やや劣っている	劣っている				
		「評価対象項目」 □□① 契約書第18条第1項第1□② 施工計画書書が工事者前に□③ 工事期間を通じて、施工計画内容響が無に□⑤ 立ま材料の品質に影事前に□⑦ 建設師を物・帳及が無りを表すの□③ 施工体制台の場をある引き取られ、□□⑪ 出事の関係書類を不足なき管□□⑩ 出事の関係書類を不足なき管□□⑪ 土中の他理基準に基づきを管理由:	提出され、所定の項目が記載 画書の記載内容と現場施工方 更が生じた場合は、その都度 いよう工事材料を保管している 行っていることが確認である。 のを法令等に沿った内容でで 成)検査を書面で実施してい 品質証明員による関係書類、 簡潔に整理していることが確認	されているとともに、設計図書の 法が一致していることが確認でき 当該工事着手前に変更計画書を提 ることが確認できる。 確認できる。 確に整備していることが確認でき ることが確認できる。 出来形、品質等の確認を工事全般 認できる。	内容及び現場条件を反映したものる。 出していることが確認できる。 る。		□ 施工管理について、監督 職員が文書による改善指 示を行った。	□ 施工管理について、監督職 員からの文書による改善指 示に従わなかった。
		●判断基準 評価値が90%以上・・・ 評価値が80%以上90% 評価値が70%以上80% 評価値が60%以上70% 評価値が60%以上70%	る。 比率(%)計算の値で評価する。 ( ) fiとする。					

考查項目別運用表 (検査員) 考查項目 3. 出来形及び出来ばえ □出来形の測定が、必要な測定項┃□出来形の測定が、必要な測┃□出来形の測定が、必要な測定┃□出来形の測定が、必要な測定┃□出来形の測定が、必要な測定┃□出来形の測定方法又は測定┃□出来形の測定方法又は測定 目について所定の測定基準に基づ|定項目について所定の測定基|項目について所定の測定基準に|項目について所定の測定基準に|項目について所定の測定基準に|値が不適切であったため、監|値が不適切であったため、検 I. 出来形 き行われており、測定値が規格値|準に基づき行われており、測|基づき行われており、測定値が|基づき行われており、測定値が|基づき行われており、測定値が|督職員が文書で指示を行い改|査職員が修補指示を行った。 を満足し、そのばらつきが規格値 |定値が規格値を満足し、その | 規格値を満足し、そのばらつき | 規格値を満足し、そのばらつき | 規格値を満足し、a~b'に該 | 善された。 の概ね50%以内で、下記の「評」ばらつきが規格値の概ね5 |が規格値の概ね80%以内で、|が規格値の概ね80%以内で、|当しない。 「評価対象項目」 □① |出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。 □② 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 ばらつきの評価 □③ 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 □ ばらつきが50%以内 □④ 写真管理基準の管理項目を満足している。 □ ばらつきが80%以内 □⑤ 出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 □ 規格値を満足し、a~b'に該当しない。 □⑥ その他 理由: ① 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。 ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。 ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所 定の出来形を確保する管理体系である。 ④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照 機械設備工事 ※上記欄によら 優れている bより優れている やや優れている cより優れている 他の評価に該当しない やや劣っている 劣っている ず、当該欄で評 □出来形の測定方法又は測定 □出来形の測定方法又は測定 「評価対象項目」 値が不適切であったため、監 値が不適切であったため、検 □□①|据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫していることが確認できる。 督職員が文書で指示を行い改 査職員が修補指示を行った。 □□② 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。 善された。 □□③ 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。 □□④ | 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 □□⑤ 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 □□⑥ 塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 □□⑦ 溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 □□⑧ 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 □□⑨ 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。 □□⑩ 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況が図表等に記録していることが確認できる。 □□① その他 理由: ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・ a 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 評価値が80%以上90%未満・・ a' ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 評価値が70%以上80%未満・・ b ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()

④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

評価値が60%以上70%未満・・ b'

評価値が60%未満・・・ c

(検査員) 考査項目 3. 出来形 電気設備工事通 優れている やや優れている 他の評価に該当しない やや劣っている 劣っている bより優れている cより優れている 及び出来ば 信設備工事・受 「評価対象項目」 □出来形の測定方法又は測定 □出来形の測定方法又は測定 変電設備工事 値が不適切であったため、監値が不適切であったため、検 □□① 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。 督職員が文書で指示を行い改 査職員が修補指示を行った。 I. 出来形 □□②|機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。 善された。 □□③ 写真管理基準の管理項目を満足している。 ※上記欄によらず、当該欄で評 □□④ 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 □□⑤ 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 価 □□⑥ 設備全般にわたり、形状、寸法の実測値が許容範囲内であることが確認できる。 □□⑦設備の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。 □□⑧配管及び配線が設計図書又は承諾図書通り敷設していることが確認できる。 □□⑨||行先などを表示した名札が、ケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。 □□⑩ 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□⑪ 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 □□⑫ その他 理由: ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・ a ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 評価値が80%以上90%未満・・ a' ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 評価値が70%以上80%未満・・ b ③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( ) ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 評価値が60%以上70%未満・・ b' 評価値が60%未満・・・ c

		与宜坝日別連用衣									(検査員)
考査項目	工種	a	a'	b	b '			С		d	е
3. 出来形及び出来ばえ	コンクリート構造物工事	[関連基準、土木工事施工・ ※ ばらつきの判断は別紙・ 「評価対象項目」	① コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等が)が確認できる。  ② コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。  ③ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。								□品質関係の測定方法又は測 定値が不適切であったため、 検査職員が修補指示を行っ た。
Ⅱ. 品質		□□② コンクリート受け入れ時に □□③ 圧縮強度試験に使用したコ									
		(寒中及び暑中コンクリー コンクリートの圧縮強度を コンクリートの打設前に、 □□⑦ 鉄筋の品質が、証明書類で コンクリート打設までにさ □□⑧ 鉄筋の組立及び加工が、設 □□⑩ 圧接作業にあたり、作業員 □□⑪ コンクリートの養生が、設	□□① 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、 定められた条件を満足していることが確認できる。 (寒中及び暑中コンクリート等を含む) □□⑤ コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 □□⑥ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□⑥ 工物の対していることが確認できる。 □□⑥ エ検に楽にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 □□ □ □ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□ □ □ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □								
		理由:	_		判断基準						
						ばら		T能	ばらつきで		
						50%以下	80%以下	80%を越える	判断不可能		
	① 当該「評	価対象項目」のうち、対象としな	い項目は削除する。		90%以上	a	a'	b	b		
	② 削除項目	のある場合は削除後の評価項目数	を母数として、比率(%)計算の	値で評価する。	75%以上90%未満	a'	b	b'	Ъ'		
	③ 評価値(	.,	「価対象項目数 ( )		60%以上75%未満	b h'	b'	С	С		
		余後の評価対象項目数が2項目以下	での場合は c 評価とする。   	c 価対象項目							

考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	
	.—	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形	コンクリート構造							
及び出来ば	物工事	「評価対象項目」			●判断基準			
ス		□① コンクリート構造物の表面	i状態が良い。		評価値が80%超	• • • a		
Ⅲ. 出来ばえ		□② コンクリート構造物の通り	が良い。		評価値が65%超80%以下・	• • • a '		
		□③ 天端仕上げ、端部仕上げ等	が良い。		評価値が45%超65%以下・	• • • b		
		□④ クラックが無い。			評価値が25%超45%以下・	· · · b '		
		□⑤ 漏水が無い。			評価値が10%超25%以下・	• • • c		
		□⑥ 全体的な美観が良い。			評価値が10%以下・・	• • • d		

		<b>与直</b> 很日 <b>剂</b> 座用农									(検査員)
考査項目	工種	a	a'	b	b '		С	d			е
3. 出来形 及び出来ば え Ⅲ. 品質	ばらつきの判断は別紙 - 4参照。							方法又は測ったため、 も示を行い	定値が不適り	の測定方法又は測 切であったため、 多補指示を行っ	
							●判断基準				
								li	らつきで判断	可能	ばらつきで
								50%以下	80%以下	80%を越える	判断不可能
			対象項目」のうち、対象としな				90%以上	a	а'	b	b
		0		を母数として、比率(%)計算の値	で評価する。		行 (五 (五 (五 (五 (五 (五 (五 (五 (五 (五		b	b '	b '
		0		平価対象項目数 ( )			値 60%以上75%	%未満 b b'	р.	c	C C
		④なお、削除後	の評価対象項目数が2項目以「	トの場合はc評価とする。			注 試験結果の打点 (評価値) だけで判		きの判断ができ	きない場合は評	価対象項目

考査項目	工種	a	a'	b	b '	С	d	
与且供口	工.1里	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
	土工事							
及び出来ば	(盛土、築堤工事	「評価対象項目」			●判断基準			
ス	等)	□① 仕上げが良い。			評価値が80%超	• • • a		
Ⅲ. 出来ばえ		□② 通りが良い。			評価値が65%超80%以下・	· · · a '		
		□③ 天端及び端部の仕上げが」	しい。		評価値が45%超65%以下・	• • • b		
		□④ 構造物へのすりつけなど	が良い。		評価値が25%超45%以下・	· · · b '		
		□⑤ 全体的な美観が良い。			評価値が10%超25%以下・	• • • c		
					評価値が10%以下・・	• • • d		
	切土工事							
		「評価対象項目」			●判断基準			
		□① 規定された勾配が確保され			A1   m1	• • • a		
					評価値が65%超80%以下・	· · · a '		
		□③ 法面勾配の変化部につい			評価値が45%超65%以下・			
		□④ 滞水などによる施工面の打			評価値が25%超45%以下・	· · · b '		
		□⑤ 関係構造物等との取り合い	いが設計図書を満足するよう施工	Lされている。	評価値が10%超25%以下・	• • • c		
		□⑥ 全体的な美観が良い。			評価値が10%以下・・	• • • d		

#### 別表-36

考查項目別運用表 (検査員) 考查項目 工種 3. 出来形 護岸・根固・水制 □品質関係の測定方法又は測 □品質関係の測定方法又は測 □ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 及び出来ば 定値が不適切であったため、 定値が不適切であったため、 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 監督職員が文書で指示を行い 検査職員が修補指示を行っ ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 改善された。 「評価対象項目」 □□① 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 Ⅱ. 品質 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 □□④ 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□⑤ | 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 □□⑥ 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□⑦ 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□⑧ 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□⑨ 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 ばらつきの評価 □ ばらつきが50%以下 □□⑩ 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 □ ばらつきが80%以下 □ ばらつきが80%を超え □ ばらつきで判断不可能 □□⑪ コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 ばらつきが80%を超える □□⑫ 施工にあたって、床堀箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 □□⑬埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□⑭ 有害なクラックが無い。 □□⑤ その他 ●判断基準 理由: ばらつきで判断可能 ばらつきで 判断不可能 50%以下 80%以下 80%を越える 90%以上 ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 75%以上90%未満 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 60%以上75%未満 60%未満 ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数() 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 (評価値) だけで判断する。

考査項目	工種	a	a'	b	b '	С	d	
与且供口	上准	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
	護岸・根固・水制				●判断基準			
及び出来ば	工事	「評価対象項目」			評価値が80%超	• • • a		
ス		□① 通りが良い。			評価値が65%超80%以下・	• • • a '		
Ⅲ. 出来ばえ		□② 材料のかみ合わせがよく、	クラックが無い。		評価値が45%超65%以下・	• • • b		
		□③ 天端及び端部の仕上げが月	良い。		評価値が25%超45%以下・	· · · b '		
		□④ 既設構造物とのすりつけれ	が良い。		評価値が10%超25%以下・	• • • c		
		□⑤ 全体的な美観が良い。			評価値が10%以下・・	• • • d		

#### 別表 - 3 ⑦

□□21 その他

理由:

考查項目別運用表 (検査員) 考査項目 工種 □品質関係の測定方法又は測 □品質関係の測定方法又は測 3. 出来形 鋼橋工事 □ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 及び出来ば (RC床版工事は 定値が不適切であったため、 定値が不適切であったため、 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] コンクリート構造 監督職員が文書で指示を行い 検査職員が修補指示を行っ ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 物に準じる) 改善された。 「評価対象項目」 「工場製作関係」 ばらつきの評価 Ⅱ. 品質 鋼材の種別を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 □ ばらつきが50%以下 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 □ ばらつきが80%以下 |溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ ばらつきが80%を超える □□④ 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 ばらつきで判断不可能 □□⑤|孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。 □□⑥ 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 □□⑦ 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 □□⑧ 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 □□① その他 ③ 評価値 (%)=該当項目数 () /評価対象項目数 () ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 [架設関係] □□⑫ ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 □□⑬┃ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 ●判断基準 □□⑭ 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。 ばらつきで判断可能 ばらつきで □□⑤ 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。 判断不可能 50%以下 80%以下 80%を越える □□⑯|支承の据付で、コンクリート面のチッピング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。 90%以上 □□団 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 75%以上90%未満 h h' ъ, □□⑱ 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有して確認していることが確認できる。 値 60%以上75%未満 Ъ, С □□⑩ 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。 60%未満 □□⑩ 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目

考査項目	工種	a	a'	b	b '	С	d	
与重项日	上准	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形	鋼橋工事				●判断基準			
び出来ば		「評価対象項目」			評価値が80%超	• • • a		
		□① 表面に補修箇所が無い。			評価値が65%超80%以下・	· · · a '		
<ul><li>出来ばえ</li></ul>		□② 部材表面に傷及び錆が無い。			評価値が45%超65%以下・	•••b		
		□③ 溶接に均一性がある。			評価値が25%超45%以下・	b'		
		□④ 塗装に均一性がある。			評価値が10%超25%以下・			
		□⑤ 全体的な美観が良い。			評価値が10%以下・・	• • • d		

(評価値) だけで判断する。

#### 別表-38

**考查項目別運用表** (検査員)

考查項目	工種		<u> </u>	a,	1	1	ь'			c		d		(1 <u>K</u> , <u>E</u> , <u>S</u>	٠,
	砂防・治山構造物		ロ所則なの計験は用のばら	<b>a</b> つきと評価対象項目の履行状況	1 (郵価値) ふと	和1年と十二 一本日					□品質関係の	別定方法又は	11 口品和	質関係の測定 フ	b 注 ▽ / ナ油l
	及び			うさこ計画対象項目の履行状の 管理基準、その他設計図書に定		十月四月 9 〇。 <u> </u>	四 本 中 少 川 /					『であったため、		『不適切であ	
え	地すべり防止工事		<ul><li>【</li></ul>		のりりないこか場所」						監督職員が支	て書で指示を行い	\ 検査和	戦員が修補指え	示を行っ
	(集水井工事を含		「評価対象項目」	- 4 参照。							改善された。		た。		
	む)		【共通】												
				び試験練りを行っており、品質	(強度・w/c	最大骨材粒径	塩化物総量 単位水	量・アルカリ	] 骨材反応抑	n制等)が確認でき					
			3.	O I TOOK > E   1	(52)2 117 0 (	XX (1) (1) (1)			11 11 22 22 31	1111111 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1					
Ⅱ. 品質		$\Box\Box$	コンクリート受け入れ時に	必要な試験を実施しており、温	! 庶 スランプ	空気 量等の測定	<b>結里が確認できる</b>								
				ンクリート供試体が、当該現場											
				さ、締固時のバイブレータの機種				おり、 定めら	っれた条件を	満足していること					
				び暑中コンクリート等を含む)											
			コンクリートの圧縮強度を	管理しており、必要な強度に通	をした後に型枠及	び支保工の取り	外しを行っている。								
				に行っていることが確認できる			,, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,								
			鉄筋及び鋼材の品質が、証		. 0										
			有害なクラックが無い。							ばらつきの評	価				
			その他							□ ばらつき					
			理由:								が80%以下 が80%を超:	z			
			【砂防構造物に適用】	•							で判断不可能	~ 3			
		$\square\square \underline{0}{0}$	コンクリート打設までさび	、どろ、油等の有害物が、鉄船	ちに付着しないよ	う管理している	ことが確認できる。								
				:計図書の仕様を満足しているこ	とが確認できる	0									
			施工基面を平滑に仕上げて	いることが確認できる。					① 当該「	評価対象項目」のうち	っ、対象としな	い項目は削除す	`る。		
			アンカーの施工が、設計図	書の仕様を満足していることが	3確認できる。				② 削除項	目のある場合は削除後	後の評価項目数	を母数として、	比率(%)言	+算の値で評価	する。
			ボルトの締付確認が実施さ	れ、記録を保管していることが	3確認できる。				③ 評価値	(%)=該当項目数	ξ ( ) /i	評価対象項目数	( )		
				器のキャリブレーションを実施	<b>値していることが</b>	確認できる。			<ul><li>④なお、削</li></ul>	除後の評価対象項目	数が2項目以	下の場合はc評	西とする。		
			—												
			理由:	_						Mai Not the State					
		_	• = /	杭・集水井戸工事を含む)】					_	判断基準	. 10	> - 2 Vert Net 444			
				書の仕様を満足していることが								らつきで判断可能		ばらつきで 判断不可能	
				てにあたり、偏心と歪みに配慮			きる。		<u> </u>		50%以下		)%を越える		
				の隙間が少なくなるように施口					書	90%以上	a	a '	b	b	
				向及び角度が、適正となるよう	に施工上の配慮	(をしていること	が確認できる。		佰	75%以上90%未行	-	b '	b' c	b'	
		$\square \square 21$	—						10	60%未満	b,	C	c	c	
			理由:	-						試験結果の打点数等	が少なくばらつる		い場合は評		
									(	(評価値) だけで判断する	5.				

考査項目	工種	a	a'	b	ь'	С	d
与重项目	上俚	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
. 出来形	砂防・治山構造物工事				●判断基準		
び出来ば		「評価対象項目」			評価値が80%超	• • • a	
		□① コンクリート構造物の	表面状態が良い。		評価値が65%超80%以下・	· · · · a '	
<ul><li>出来ばえ</li></ul>		□② コンクリート構造物の	通りが良い。		評価値が45%超65%以下・	• • • • b	
		□③ 天端仕上げ、端部仕」	げ等が良い。		評価値が25%超45%以下・	· · · · b '	
		□④ クラックが無い。			評価値が10%超25%以下・	· · · · c	
		□⑤ 漏水が無い。			評価値が10%以下・・	• • • • d	
		□⑥ 全体的な美観が良い。					
	地すべり防止工事				●判断基準		
		「評価対象項目」			評価値が80%超	• • • a	
		□① 地山との取り合いが良	V,		評価値が65%超80%以下・	· · · · a '	
		□② 天端、端部の仕上げか	良い。		評価値が45%超65%以下・	• • • • b	
		□③ 施工管理記録などから	不可視部分の出来ばえの良さが伺え	とる。	評価値が25%超45%以下・	· · · · b '	
		□④ 全体的な美観が良い。			評価値が10%超25%以下・	· · · · c	
					評価値が10%以下・・	• • • • d	

**考查項目別運用表** (檢查員)

考查項目	工種		a		a'		h		b '		c		d	e
	舗装工事				-	in (in the table)	National Control	a start that their state			<u> </u>		**	_
3. 出来形	胡裘上争		品質関係の試験結果のばら	つきと評価対	「象項目の腹行状	兄(評価値)か	ら判断する。	<判断基準	参照 >				□品質関係の測定方法又は測	□品質関係の測定方法又は測
及び出来ば			[関連基準、土木工事施工管	管理基準、その	の他設計図書に定	[められた試験]							定値が不適切であったため、	定値が不適切であったため、
え			※ ばらつきの判断は別紙-	- 4 参照。									監督職員が文書で指示を行い	検査職員が修補指示を行っ
			「評価対象項目」										改善された。	7C.
			【路床・路盤工関係】											
			2	1.20	feder 2: 2004 when 2 and -		\							
			設計図書に定められた試験				きる。							
		$\square \square (2)$	路床及び路盤工のプルーフ	ローリングを	・行っていること:	が確認できる。								
Ⅱ. 品質			路床及び路盤工の密度管理	が、設計図書	の仕様を満足し	ていることが確	認できる。							
		$\Box\Box$ 4	路盤の安定処理は材料が均	一になるよう	施工しているこ	とが確認できる	0							
			路盤の施工に先立って、路					1.ているこ	レが確認できる					
			路床盛土において、一層の									げらつき	の評価	
										= 12 ° το le ⇒π .	x. 7		5つきが50%以下	
			路床盛土において、構造物	の解接固別や	一次い固別におり	<b>る柿直めか、</b> ダ	ンハ寺の小笠	部面の機械	により他工している	ことが唯認	<b>でさる。</b>		5つきが80%以下	
		$\square \square (8)$	その他									□ ばら	っつきが80%を超える	
			理由:									口 ばら	っつきで判断不可能	
			【アスファルト舗装工関係	1										
		$\Box\Box$	アスファルト混合物の品質	が 耐合設計	- 及び試験補りの	は里マけ 重前家	杏制度の証明	主箱に トル	確認できる					
		_	舗装工の施工にあたって、						HEND CC DO					
		-							7 - 1. 21706-71-5-7					
		_	プラント出荷時、現場到着			,		TELER L CV	ることが唯能できる	0				
			舗設後の交通開放が、定め											
			各層の継ぎ目の位置が、設											
			縦継目及び横継目の位置、	構造物との接	合面の処理等が、	、設計図書の仕	様を満足して	いることが	確認できる。					
			アスファルト混合物の運搬	及び舗設にあ	たって、気象条件	件を配慮してい	ることが確認	できる。						
			密度管理が設計図書の仕様											
			その他	と同人してく	のことが、中国ので	C.20								
			での他 理由:											
			理由:											
			【コンクリート舗装工関係】											
			コンクリートの配合試験及	び試験練りを	·行っており、コン	/クリートの品質	質(強度・w/	´c、最大骨沒	材粒径、塩化物総量	、単位水量.	、アルカリ′	骨材反応抑制		
			等)が確認できる。											
			舗装工の施工に先だって、	ト国政般面の	※ お 五 笙 の 右 宝 /	<b>物を除去してか</b>	ら施工してい	ステレが確	切できる					
		_												
			コンクリート受け入れ時に						唯祕できる。					
			圧縮強度試験に使用したコ											
		$\square \square 22$	運搬時間、打設方法及び養生	E方法が、施コ	工条件及び気象条	:件に適しており	<ol> <li>、設計図書</li> </ol>	に定められた	_条件を満足している	ることが確認	3できる。			
		$\square \square 23$	材料が分離しないようコン	クリートを敷	(均していること)	が確認できる。								
		$\square \square 24$	チェアー及びタイバーを損ぐ	傷などが発生	しないよう保管	していることが	確認できる。							
		$\square \square 25$	その他				-						1	
			理由:					●判	断基準					
			- 17 led 1							ば	らつきで判断す	可能	ばらつきで	
										50%以下	80%以下	80%を越える	判断不可能	
									90%以上	a	a ,	b	b	
	① 当	該「評	価対象項目」のうち、対象と	しない項目は	は削除する。			32.	90%以上 75%以上90%未満	a ,	a b	р,	b '	
	② 削	除項目	のある場合は削除後の評価項	[目数を母数と	として、比率(%)ま	+算の値で評価。	する。	1 1mi H	75%以上90%未満 60%以上75%未満		b '			
			%)=該当項目数( )						60%以上75%未満 60%未満	b '		С	c	
			後の評価対象項目数が2項						60%未満 試験結果の打点数等が√		C キの判除がつき	C をおい担合け起	E 分争項目	
	(H)/LA	○、日1月	区少町 川		IACITIMIC 7 Do				試験結果の打点数等か? 価値)だけで判断する。		さい州脚ができ	: はい物品は評1	川 刈 水作 日	
								(AT	mm m=/ /⊂1/ < 1941 7 '0/ o				1	
														1

考査項目	工種	a	a'	b	b '	С	d	
与且供口	上准	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形	舗装工事		•	•	●判断基準	•	•	
及び出来ば		「評価対象項目」			評価値が80%超	• • • a		
ス		□① 舗装の平坦性が良い。			評価値が65%超80%以下・	• • • a '		
Ⅲ. 出来ばえ	•	□② 構造物の通りが良い。			評価値が45%超65%以下・	• • • b		
		□③ 端部処理が良い。			評価値が25%超45%以下・	• • • b '		
		□④ 構造物へのすりつけ等が良	良い。		評価値が10%超25%以下・	• • • c		
		□⑤ 雨水処理が良い。			評価値が10%以下・・	• • • d		
		□⑥ 全体的な美観が良い。						

**考查項目別運用表** (検査員)

考査項目	工種		а	a'	b	b'	С	d	е
及び出来ば	法面工事			つきと評価対象項目の履行状況 理基準、その他設計図書に定	R (評価値) から判断する。<判  められた試験]	断基準参照>		□品質関係の測定方法又は測 定値が不適切であったため、	□品質関係の測定方法又は測 定値が不適切であったため、
え			※ ばらつきの判断は別紙-		-> > 4 6 1 C R ABV 3			監督職員が文書で指示を行い 改善された。	検査職員が修補指示を行った
			「評価対象項目」					- C 4 07 C 0	, <u> </u>
			【共 通】 施工基面を平滑に仕上げて	いることが確認できる。(特に	ニ法枠工、コンクリート又はモル	タル吹付工関係)			
		$\Box\Box$ 2	施工に際して、品質に害と	なる施工面の浮き石やゴミ等を	と除去してから施工していること:	が確認できる。			
Ⅱ. 品質					うを十分行っていることが確認で	きる。			
			雨水による崩壊か起こらな その他	いように、排水対策を実施して	いることが帷祕できる。				
			理由:						
			【種子吹付工、客土吹付工	、植生基材吹付工関係】					
			土壌試験の結果を施工に反	映していることが確認できる。					
			ネットなどの境界に隙間が ネットなどが破損を生じて	生じていないことが確認できる いないことが確認できる	, o		hat he are to a simple		Ц
			ベットなどが敬損を生して 吹付け厚さが均等であるこ				ばらつきの評価	50%以下	
			使用する材料の種類、品質	、配合等が設計図書の仕様を満	<b></b> 毎足していることが確認できる。		□ ばらつきが □ ばらつきが	80%以下 80%を超える	
			施工時期が定められた条件	を満足していることが確認でき	きる。		□ ばらつきで		
			世由:						
			【 コンクリート又はモルタ	ル吹付工関係】				1	
					:満足していることが確認できる。	· (	① 当該「評価対象項目」のうち、:	対象としない項目は削除する。	
			金網の重ね幅が、10cm 金網が破損を生じていない	以上確保されていることが確認 ことが確認できる。	3 <sup>™</sup> できる。	(	② 削除項目のある場合は削除後の	評価項目数を母数として、比率(	
				ここが確認くさる。 、事前に吸水させてから施工し	ていることが確認できる。		<ul><li>③ 評価値(%)=該当項目数(</li></ul>		
			吹付け厚さが均等であるこ		1874==== 4. 7		④なお、削除後の評価対象項目数カ	* Z 垻日以下の場合は C 評価とす	ବ .
				上に分割して施工していること ンクリートの供試体が、当該瑪	: が確認できる。 見場の供試体であることが確認で	きる。			
			不良箇所が生じないよう跳	ね返り材料の処理を行っている	うことが確認できる。	<u> </u>			
		$\square$ $\square$ 21 $\square$ 22		山に沿って巻き込んで施工して	こいることが確認できる。		A Martine Alle Nation		
		44	その他 理由:				●判断基準	ばらつきで判断可能	ばらつきで
							5 0 9	%以下 80%以下 80%を越える	判断不可能
			【現場打法枠工関係(プレ		が 日 1 ディンスト しぶが知 デキフ		- 700111	a a' b	b
				及び配合か、設計図書の仕様を の長さで施工していることが确	≿満足していることが確認できる。 誰認できる。		価 75%以上90%未満 60%以上75%未満	a' b b'	b' c
		$\square \square 25$	現場養生が、設計図書の仕	様を満足するように実施されて	こいることが確認できる。		60%未満	b' c c	С
				リート供試体が当該現場の供記	は体であることが確認できる。		注 試験結果の打点数等が少なく (評価値)だけで判断する。	ばらつきの判断ができない場合は評	価対象項目
			枠内に空隙が無いことが確 層間にはく離が無いことが						
		$\square \square 29$	不良箇所が生じないよう跳	ね返り材料の処理を行っている	らことが確認できる。				
		□□30	その他						
			理由:						
1			a	a'	b	b'	c	d	
考査項目	工種		a 優れている	a bより優れている	やや優れている	cより優れている	<u>c</u> 他の評価に該当しない	・ やや劣っている	
	法面工事			<u>'</u>		●判断基準			
及び出来ば え			「評価対象項目」			評価値が80%超	•••a		
- Ⅲ. 出来ばえ			通りが良い。 植生、吹付等の状態が均一で	ある。		評価値が65%超80%以下・評価値が45%超65%以下・			
			端部処理が良い。			評価値が25%超45%以下・			
		□4)	全体的な美観が良い。			評価値が10%超25%以下・			
						評価値が10%以下・・	• • • • d		

### 別表-30

**考査項目別運用表** (検査員) T種 a a' b b' c d e

考査項目	工種		a	a'	b		b'		С			d	е
3. 出来形	基礎工事及び		品質関係の試験結果のばら	つきと評価対象項目の履行状況	2 (評価値) から判断する。	<判断基準参照>						系の測定方法又は測	□品質関係の測定方法又は測
及び出来ば	地盤改良工事		[関連基準、土木工事施工管	管理基準、その他設計図書に定	められた試験]							適切であったため、	定値が不適切であったため、
え			※ ばらつきの判断は別紙-	- 4 参照。							<ul><li>監督職員だ</li><li>一改善された</li></ul>	が文書で指示を行い	検査職員が修補指示を行っ
			「評価対象項目」								以書されり	<u>~</u> 0	た。
			【杭関係(コンクリート・	鋼管・鋼管井筒、場所打、深磁	<b>善等)】</b>								
			杭に損傷及び補修痕が無い	ことが確認できる。									
		$\Box\Box$	既製杭の打止め管理の方法	及び場所打杭の施工管理の方法	い整備されており、その記	録を整理している	ことが確認できる。						
Ⅱ. 品質			杭頭処理において、杭本体	を損傷していないことが確認て	<b>ごきる。</b>								
		$\Box\Box$ 4	水平度、鉛直度等が、設計	図書を満足していることが確認	Rできる。								
			溶接の品質管理に関して、	設計図書の仕様を満足している	ことが確認できる。								
		$\Box\Box$ 6	支持地盤に達していること	が、掘削深さ、掘削土砂等によ	り確認できる。								
		$\Box\Box$	場所打杭について、トレミ	一管をコンクリート内に2m以	人上挿入して施工しているこ	とが確認できる。							
			掘削深度、排出土砂、孔内	水位の変動及び安定液を用いる	場合の孔内の安定液濃度並	びに比重等が、設	計図書を満足してい	いることだ	が確認でき	さる。			
		$\Box\Box$ 9	配筋、スペーサーの配置及	びコンクリート打設等が、設計	ト図書の仕様を満足している	ことが確認できる	Ö						
			ライナープレートの組み立	てにあたり、偏心と歪みに配慮	【して施工していることが確	認できる。							
			裏込材注入の圧力などが施	工記録により確認できる。									
				の比重管理などの品質に係わる	事項の管理資料を整理して	いることが確認で	きる。						
			その他				げら	つきの評価	価			7	
			理由:						が50%じ	人下			
									が80%じ				
			【地盤改良関係】						が80%を マペロサビアニ				
			改良材のバッチ管理記録が	整理され、設計図書の仕様を清	<b>5足していることが確認でき</b>	る。		はらつざ	で判断不可	JRE			
			セメントミルクの比重、ス	ラリー噴出量、強度等の管理資	₹料を整理していることが確	認できる。							
				改良材の選定、必要添加量の認									
				ているとともに、十分な強度及	び支持力を確保しているこ	とが確認できる。	A VOLUME ++ SW-				1		
			その他				●判断基準		. 10	l b b admitter			
			理由:					_		らつきで判断		ばらつきで 判断不可能	
						<del></del>		5	50%以下	80%以下	80%を越える		
			① 当該「評価対象項目」の	うち、対象としない項目は削除	する.		90%以上		a	а'	b	b	
				除後の評価項目数を母数として		5.	価 75%以上90		a '	b	b.	b '	
			③ 評価値 (%) =該当項				値 60%以上75	0 %木油	h,	ь,	c	c	
			O 11 11 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	直目数が2項目以下の場合はca	,		注 試験結果の打点	点数等が少;			ない場合は評	価対象項目	
							(評価値) だけで半	判断する。					
				1								· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

考査項目	工種	a	a'	b	b '	С	d	
与重視日	上性	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
	基礎工事				●判断基準			
及び出来ば	(地盤改良等を含む)	「評価対象項目」			評価値が80%超	• • • a		
۲		□① 土工関係の仕上げが良い。			評価値が65%超80%以下・	· • • • a '		
Ⅱ. 出来ばえ		□② 通りが良い。			評価値が45%超65%以下・	· • • • b		
		□③ 端部及び天端の仕上げが良	良い。		評価値が25%超45%以下・	· • • • b '		
		□④ 施工管理記録などから不可	可視部分の出来ばえの良さが伺え	る。	評価値が10%超25%以下・	· • • • c		
		※地盤改良は c 評価とする	5.		評価値が10%以下・・	· • • • d		

### 別表-3⑩

		考査項目別運用表									(検査員)
考査項目	工種	a	a'	b	b'		С			d	е
3. 出来形 及び出来ば え 1. 品質		 [関連基準、土木工事施工管 ※ ばらつきの判断は別紙- 「評価対象項目」 コンクリートの圧縮強度を 運搬、打設、締め固めが、 圧縮強度試験に使用したの転 転倒や崩壊等が無いようコ 転倒や崩壊等が無いようコ 捨石基礎の均し面を平坦に 工事期間中、1日1回は潮位	管理基準、その他設計図書に定 - 4参照。 管理し、必要な強度に達した名 気象条件に適しており、設計し :ンクリート供試体が当該現場の :ご及び仮置にあたって、強度を :ンクリートプロックの仮置を ・仕上げていることが確認できる :観測を実施して記録している。	後に型枠及び支保工の取り外しる 図書の仕様を満足していることが の供試体であることが確認できる 確認を行っている。 行っていることが確認できる。 る。	:行っていることが i確認できる。 ;。	確認できる。	□ ばら~ □ ばら~	カ評価 つきが50%以 つきが80%以 つきが80%も つきで判断不同	定値が不適監督職員が改善された	係の測定方法又は測 適切であったため、 (文書で指示を行い -。	定値が不適切であったため、
		 理由:	_		•	判断基準			•		
							ば	らつきで判断可	能	ばらつきで	
							50%以下	80%以下	80%を越える	判断不可能	
						90%以上	a	a '	b	b	
		① 当該「誣価対象項目」の	 )うち、対象としない項目は削隊	全する	評	75%以上90%未満	a '	b	ь'	b '	
		 		ポッ℃。 て、比率(%)計算の値で評価する。	1四 値	60%以上75%未満	b	b '	С	с	
		② n/kk・g 1 0 20 20 30 1 は n ③ 評価値 ( %) =該当項				60%未満	b '	С	С	С	
		O #1	項目数が2項目以下の場合は c			試験結果の打点数等が 評価値) だけで判断する		きの判断ができ	ない場合は評	価対象項目	

考査項目	工種	a	a'	b	b '	С	d	
与且供口	上1里	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え Ⅲ. 出来ばえ	海岸工事	「評価対象項目」  ② コンクリート構造物の表面 ② コンクリート構造物の通り ③ 天端仕上げ、端部仕上げ等 ② クラックが無い。 ③ 漏水が無い。 ② 全体的な美観が良い。	が良い。		評価値が65% 超80%以下・ 評価値が45% 超65%以下・ 評価値が25% 超45%以下・ 評価値が10% 超25%以下・	· · · b		

### 別表-33

**考查項目別運用表** (檢查員)

考査項目	工種		a	a'	b	b '		С		d		e
3. 出来形	コンクリート橋		品質関係の試験結果のばら	つきと評価対象項目の履行状況	兄(評価値)から判断する。<判	斯基準参照>				□品質関係の測定		□品質関係の測定方法又は測
及び出来ば	上部工事		[関連基準、土木工事施工管	管理基準、その他設計図書に定	められた試験]					定値が不適切であ		定値が不適切であったため、
え	<ul><li>(PC及びRCを 対象)</li></ul>		※ ばらつきの判断は別紙-	- 4 参照。						監督職員が文書で 改善された。	で指示を行い	検査職員が修補指示を行っ
	A1 3K)		「評価対象項目」							以告 0 4 0 / 2 。		/0
			【共通】									
			コンクリートの配合試験及 等)が確認できる。	び試験練りを行っており、コン	クリートの品質(強度・w/c、)	最大骨材粒径、塩化物総量、単位	立水量、アルス	カリ骨材反応	抑制			
				Name I show a state of the last of the last		Chart about the said						
Ⅱ. 品質					温度、スランプ、空気量等の測定							
11. 前貫					見場の供試体であることが確認で 及び締固め方法が、 定められた。		できる (寉d	11万7ド駅由っ	シノカ			
			リート等を含む)	に建城が同い日はいの父人同じ	及6种面9为477、足9540亿	大口 と間だしていることが推動さ	(6.9) (%)	1人041-	-			
			コンクリートの圧縮強度を	管理して、必要な強度に達した	と後に型枠及び支保工の取り外し	を行っていることが確認できる。						
		_	鉄筋の品質が、証明書類で			CITY OF COMPANY						
					様を満足していることが確認でき。	る。						
			コンクリート打設までにさ	び、どろ、油等の有害物が鉄筋	第に付着しないよう管理している。	ことが確認できる。						
			圧接作業にあたり、作業員	の技量確認を行っていることが	が確認できる。		ばらっ	つきの評価				
		_		計図書の仕様を満足しているこ				ばらつきが 5				
				計図書の仕様を満足しているこ				ばらつきが 8 ばらつきが 8				
		_			‡を満足していることが確認でき	=		ょりつさかる ばらつきで判				
					<b>兼を満足していることが確認でき</b>	る。						
				ャリブレーションを事前に実施		2 7						
					上様を満足していることが確認で 図書の仕様も満足していることが							
					図書の仕様を満足していることが ‡におかれた供試体を用いている。							
			有害なクラックが無い。	心は、特旦物と同様な食工术に	できるがずいこ 英政体を 用いている							
			その他									
			理由:			●判断基準						
				•	_			ば	らつきで	判断可能	ばらつきで	
					_			50%以下	80%	以下 80%を越える	判断不可能	
			、対象としない項目は削除す		_	90%	以上	a	a '	b	b	
				比率(%)計算の値で評価する。	_	11111	以上90%未満		b		b '	
			( ) /評価対象項目数				以上 7 5 %未満	b	ь'		С	
(4)/£ X	の、削除後の評価対象	<b>於</b> 坦日第	なが 2 項目以下の場合は c 評	とする。	-	60%5		b' 小なくげらつき	との判断:	c ができない場合は評	C 価対象項目	
							だけで判断する。		- ^> Libiti	v · くこ・よ・・物 口 は IT	m シ1 シン・ス 口	
	l		l									

考査項目	工種 -	а	a'	b	b '	c	d		
		優れている	b より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている		
	コンクリート橋上		•	•	●判断基準	•	•		
及び出来ば	部工事	「評価対象項目」			評価値が80%超 評価値が65%超80%以下・・・a				
え		□① コンクリート構造	物の表面状態が良い。						
Ⅲ. 出来ばえ	'	□② コンクリート構造物の通りが良い。			評価値が45%超65%以下・・・b				
		□③ 天端及び端部の仕			評価値が25%超45%以下・	b'			
		□④ 支承部の仕上げが良い。			評価値が10%超25%以下・・・c				
		□⑤ クラックが無い。				• • • d			
		□⑥ 全体的な美観が良	W.						

#### 別表-34

考查項目別運用表 (検査員) 考查項目 工種 3. 出来形 塗装工事 □品質関係の測定方法又は測 □品質関係の測定方法又は測 □ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 及び出来ば 定値が不適切であったため、 定値が不適切であったため、 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 監督職員が文書で指示を行い 検査職員が修補指示を行っ ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 改善された。 「評価対象項目」 □□① 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 ケレンを入念に実施していることが確認できる。 Ⅱ. 品質 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 □□④ 塗料を使用前に撹拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 ばらつきの評価 □□⑤ 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 □ ばらつきが50%以下 □□⑥ 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 ばらつきが80%以下 □□⑦ 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 □ ばらつきが80%を超える □□⑧ 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 □ ばらつきで判断不可能 □□⑨ 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 □□⑩ その他 理由: ●判断基準 ばらつきで判断可能 ばらつきで 判断不可能 50%以下 80%以下 80%を越える 90%以上 ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 75%以上90%未満 b Ъ, ь, ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 60%以上75%未満 ъ, h ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数() 60%未満 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで判断する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d		
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている		
. 出来形	塗装工事	●判断基準							
及び出来ば	(工場塗装を除く)	「評価対象項目」		評価値が80%超 ・・・a					
		□① 塗装の均一性が良い。			評価値が65%超80%以下・・・・a'				
Ⅲ. 出来ばえ		□② 細部まできめ細かな施工がされている。			評価値が45%超65%以下・・・・b				
		□③ 補修箇所が無い。			評価値が25%超45%以下・・・・b'				
		□④ ケレンの施工状況が良好	である。		評価値が10%超25%以下・	· • • • c			
		□⑤ 全体的な美細が良い			証価値が10%以下 · •	d			

#### 別表-3億

考查項目別運用表 (検査員) 考査項目 工種 ъ, 3. 出来形 □品質関係の測定方法又は測 □品質関係の測定方法又は測 トンネル工事 □ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 及び出来ば 定値が不適切であったため、 定値が不適切であったため、 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 監督職員が文書で指示を行い 検査職員が修補指示を行っ ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 改善された。 「評価対象項目」 □□① コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制 等)が確認できる。 Ⅱ. 品質 □□② コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 □□③ 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 □□④ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締固め方法が、 定められた条件を満足していることが確認できる。 □□⑤┃吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種別、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□⑥|設計図書に定められた岩区分(支保エパターン含む)の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。 □□⑦ 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ばらつきの評価 □□⑧ 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。 □ ばらつきが50%以下 金網の継ぎ目を15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。 □ ばらつきが80%以下 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確 🖂 ばらつきが80%を超える できる。 □ ばらつきで判断不可能 □□⑩|吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認できる。 □□⑩□□ックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□⑬ 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。 □□⑩|逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継目が同一線上で施工していないことが確認できる。 □□⑤ その他 理由: ●判断基準 ばらつきで判断可能 ばらつきで 判断不可能 50%以下 80%以下 80%を越える ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 90%以上 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 75%以上90%未満 ъ, ь, 60%以上75%未満 b ь, ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数( С С 60%未満 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで判断する。

考査項目	工種	a	a'	b	ь'	С	d		
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている		
3. 出来形 及び出来ば	トンネル工事								
及び出来ば		「評価対象項目」			評価値が80%超・・・・a				
ス		□① コンクリート構造物の表記	面状態が良い。		評価値が65%超80%以下・・・a'				
Ⅲ. 出来ばえ	•	□② コンクリート構造物の通	りが良い。		評価値が45%超65%以下・	• • • b			
		□③ 天端仕上げ、端部仕上げ	等が良い。		評価値が25%超45%以下・	• • • b '			
		□④ クラックが無い。			評価値が10%超25%以下・・・・c				
		□⑤ 漏水が無い。			評価値が10%以下・・	• • • d			
		□⑥ 全体的な美観が良い。							

#### 別表-3億

考查項目別運用表 (検査員) 考査項目 工種 3. 出来形 植栽工事 □品質関係の測定方法又は測 □品質関係の測定方法又は測 □ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 及び出来ば 定値が不適切であったため、 定値が不適切であったため、 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 監督職員が文書で指示を行い 検査職員が修補指示を行っ ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 改善された。 「評価対象項目」 □□① 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 □□② 樹木などに損傷、はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 □□③ 樹木等の生育に害のある害虫等がいないことが確認できる。 Ⅱ. 品質 ばらつきの評価 □□④ 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 □ ばらつきが50%以下 □□⑤ 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 □ ばらつきが80%以下 ばらつきが80%を超える □□⑥ 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を堀り植穴底部を耕していることが確認できる。 □ ばらつきで判断不可能 □□⑦添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 □□⑧ 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。 □□⑨ その他 理由: ●判断基準 ばらつきで判断可能 ばらつきで 判断不可能 50%以下 80%以下 80%を越える 90%以上 75%以上90%未満 ь ' b' b 値 60%以上75%未満 ъ, С ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 60%未満 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数() (評価値) だけで判断する。 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

考査項目	工種	a	a'	b	b '	С	d		
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている		
3. 出来形	植栽工事		-	•	•				
及び出来ば		「評価対象項目」			評価値が80%超	• • • a			
ス		□① 樹木の活着状況が良い。			評価値が65%超80%以下・・・・a'				
		□② 支柱の取り付けがきめ細か	く施工されている。	評価値が45%超65%以下・・・b					
1		□③ 支柱の取り付けが堅固であ	る。		評価値が25%超45%以下・	• • • b '			
Ⅱ. 品質		□④ 全体的な美観が良い。			評価値が10%超25%以下・・・・c				
i					郵価値が10%以下 ・・	• • • d			

#### 別表-30

**考查項目別運用表** (検査員)

考査項目	工種		a	a'	b	b '		С		d	е
3. 出来形 及び出来ば え	防護柵(網)・ 標識・区画線等 設置工事		[関連基準、土木工事施工管 ※ ばらつきの判断は別紙-	管理基準、その他設計図書に定	兄(評価値)から判断する。<判 「められた試験]	断基準参照>			定値が 監督職	関係の測定方法又は測 不適切であったため、 員が文書で指示を行い れた。	□品質関係の測定方法又は測 定値が不適切であったため、 検査職員が修補指示を行っ た。
		□□① □□② □□③ □□⑥ □□⑦ □□⑥ □□⑦ □□⑥ □□⑩ □□⑩ □□⑩ □□⑩ □□⑩ □□⑪ □□⑪ □□⑪ □□⑪ □□⑪	※ ばらつきの判断は別紙- 「評価対象項目」 防護柵等の東項目」 防護柵等の床堀健工の施工にあ ・ 一下を一ブルルを支柱で加まる ・ でインルの端、とはですが、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	- 4参照。 - 2参照。 - 2参照。 - 2参照。 - 2参照。 - 3	ック等の規定を満足していること 不陸が生じないように施工していること クリートの規定を満足していることが確認 にいよう施工していることが確認 できる。 ることが確認できる。 られた所定の張力を与えているの。 したコンクリートが設力を 10%以下であることが確認できる。 まを満足していることが確認できる。 策を満足していることが確認できる。 まとが確認できる。とが確認できる。 がほこりを取り除いて行っている ごより、路面への影響が最小限と ることが確認できる。 を認できる。	へることが確認できる。 ことが確認できる。 まできる。 のが確認できる。 こめられた強度以上であることが確 でる。 こことが確認できる。	ば □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	らつきの評価 ばらつきが ばらつきが ばらつきで 80%以下 a' b' c	監督職さ 50%以下下 80%以下下 80%を超える b b' c c	員が文書で指示を行いれた。  ばらつきで 判断不可能  b  b'  c  c	

考査項目	工種	a	a'	b	b '	c	d	
与且供口	工1里	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形	防護柵(網)工事				●判断基準			
及び出来ば		「評価対象項目」			評価値が80%超	• • • a		
ス		□① 通りが良い。			評価値が65%超80%以下・	· · · a '		
Ⅲ. 出来ばえ		□② 端部処理が良い。			評価値が45%超65%以下・	• • • b		
		□③ 部材表面に傷及び錆が無	٧١ <sub>°</sub>		評価値が25%超45%以下・	· · · b '		
		□④ 既設構造物等とのすりつ	けが良い。		評価値が10%超25%以下・	• • • c		
		□⑤ きめ細やかに施工されて	いる。		評価値が10%以下・・	• • • d		
	tenda M	□⑥ 全体的な美観が良い。						
	標識工事				●判断基準			
		「評価対象項目」			評価値が80%超			
		□① 設置位置に配慮がある。			評価値が65%超80%以下・			
		□② 標識板の向き並びに角度			評価値が45%超65%以下・			
		□③ 標識板の支柱に変色が無			評価値が25%超45%以下・			
		□④ 支柱基礎が入念に埋め戻	されている。		評価値が10%超25%以下・			
	ロエゆーオ	□⑤ 全体的な美観が良い。			評価値が10%以下・・	• • • d		
	区画線工事	Far for the far Fig.			●判断基準			
		「評価対象項目」			評価値が80%超			
		□□ 塗料の塗布が均一である。			評価値が65%超80%以下・			
		□② 視認性が良い。			評価値が45%超65%以下・			
		□③ 接着状態が良い。			評価値が25%超45%以下・			
		□④ 施工前の清掃が入念に実	施されている。		評価値が10%超25%以下・			
		□⑤ 全体的な美観が良い。			評価値が10%以下・・・	• • • d		

#### 別表-3個

60%未満

(評価値) だけで判断する。

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目

考查項目別運用表 (検査員) 考査項目 3. 出来形 電線共同溝工事 □品質関係の測定方法又は測 □品質関係の測定方法又は測 □ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 及び出来ば 定値が不適切であったため、 定値が不適切であったため、 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 監督職員が文書で指示を行い 検査職員が修補指示を行っ ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 改善された。 「評価対象項目」 □□① 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 □□② 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 □□③ プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理が記録していることが確認できる。 Ⅱ. 品質 □□④特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。 □□⑤ 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 □□⑥ 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□⑦舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 □□⑧ 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□⑨ 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 □□⑩ その他 理由: ばらつきの評価 □ ばらつきが50%以下 □ ばらつきが80%以下 □ ばらつきが80%を超える ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 □ ばらつきで判断不可能 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値( %)=該当項目数( ) /評価対象項目数( ) ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ●判断基準 ばらつきで判断可能 ばらつきで 判断不可能 50%以下 80%以下 80%を越える 90%以上 a' b b 所 75%以上90%未満 b ъ, 値 60%以上75%未満 b ь, С С

考査項目	工種	a	a'	b	b '	c	d	
与重項目	上俚	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
	電線共同溝工事				●判断基準			
及び出来ば		「評価対象項目」			評価値が80%超	• • • a		
ス		□① 歩道及び車道の舗装(含、仮	(復旧舗装)の勾配が適切で、有	害な段差が無く平坦性が確保さ	オ評価値が65%超80%以下・	· · · a '		
Ⅲ. 出来ばえ		□② プレキャストコンクリートブロックの蓋に	こ、がたつきや不要な隙間が生し	じていない。	評価値が45%超65%以下・	• • • b		
		□③ 施工管理記録などから、	不可視部分の出来映えの良さが	伺える。	評価値が25%超45%以下・	· · · b '		
		□④ 全体的な美観が良い。			評価値が10%超25%以下・	• • • c		
					評価値が10%以下・・	• • • d		

#### 別表-319

			考查項目別運用表								(検査員)
考査項目	工種		a	a'		b		b'	С	d	е
3. 出来形 及び出来ば え	維持工事 (清掃工、除草 工、付属物工、除 雪、応急処理等)		「評価対象項目」 吏用する材料の品質・形状 構造物の劣化状況をよく把 監督職員の指示事項に対し 緊急的な作業において、近	2握して、適切な対策を レて、現地状況を勘案し	とが確認できる。	□品質関係の測定方法又は測 定値が不適切であったため、 監督職員が文書で指示を行い 改善された。	□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、 検査職員が修補指示を行った。				
Ⅱ. 品質		□□⑤ ji □□⑥ ji □□	型由 型由 型由 (重単) (重要) (重要) (重要) (重要) (重要) (重要) (重要) (重要	合は削除後の評価項目数 変当項目数 ( ) /	数を母数として 評価対象項目	、比率(%)計算 数( )	章の値で評価する。		ばらつきの評価  ばらつきが50%以下  ばらつきが80%以下  ばらつきが80%を超える  ばらっきで判断不可能		
			●判断基準						日一はりラクで行動が可能		
				ばらつきで判断 50%以下 80%以下 a a' b b b' c		ばらつきで 判断不可能 b b' c					

考査項目	工種	a	a'	b	b '	С	d	
与且供口		優れている	b より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え Ⅲ. 出来ばえ	維持工事	「評価対象項目」  ①① 小構造物等にも注意が払れ  ② きめ細かな施工がなされて  ③ 既設構造物とのすりつけか  全体的な美観が良い。	こいる。		評価値が65%超80%以下・ 評価値が45%超65%以下・ 評価値が25%超45%以下・ 評価値が10%超25%以下・	· · · b · · · b ·		

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで判断する。

#### 別表-320

**考查項目別運用表** (検査員)

考査項目	工種	а	a'	b	b'	С	d	e
3. 出来形 及び出来ば え Ⅱ. 品質	等)	□□② 構造物の劣化状況をよ □□③ 監督職員の指示事項に	く把握して、適切な対策を施して 対して、現地状況を勘案し、施工	おいて材料確認を適宜・的確に行いることが確認できる。 方法や構造についての提案を行う 勘案した提案等を行っていること	など積極的に取り組んでいること		□品質関係の測定方法又は測定値不適切であったため、 定値が不適切であったため、 監督職員が文書で指示を行い 改善された。	□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、 検査職員が修補指示を行っ *
		② 削除項目のある場 ③ 評価値(%)= ④なお、削除後の評値 ●判断基準 ■ 90%以上 75%以上90 値 60%以上75 60%末満		して、比率(%)計算の値で評価する 目数( ) t c 評価とする。 ばらつきで 判断不可能 b	□ ばらつき □ ばらつき	平価 が50%以下 が80%以下 をが80%を超える で判断不可能		

考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	
与重项日	上准	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば	修繕工事	「評価対象項目」			●判断基準			
ż		□□ 小構造物等にも注意が払わ	oれている。		評価値が80%超 評価値が65%超80%以下・	• • • a • • • a		
Ⅲ. 出来ばえ		□② きめ細かな施工がなされて	いる。		評価値が45%超65%以下・			
		□③ 既設構造物とのすりつけが □④ 全体的な美観が良い。	·艮い。		評価値が25%超45%以下・評価値が10%超25%以下・			
						• • • d		

#### 別表-3(21)

別衣 - 3 (21)		考査項目別運用表						(検査員)
考査項目	工種	a	a'	b	b '	С	d	е
3. 出来形	機械設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
及び出来ば		「評価対象項目」					□品質関係の測定方法又は測	□品質関係の測定方法又は測
え		□□① 材料、部品の品質照合の書					定値が不適切であったため、	定値が不適切であったため、
		□□② 設備の機能及び性能が、承		監督職員が文書で指示を行い 改善された。	検査職員が修補指示を行っ た。			
		□□③ 設計図書の仕様を踏まえた	詳細設計を行い、承諾図書と	Q A C 40/C.	/_0			
		□□④機器の機能及び性能に係わ	る成績書が整理され、品質の	確認ができる。				
Ⅱ. 品質		□□⑤ 溶接管理基準の品質管理項						
		□□⑥ 塗装管理基準の品質管理項						
		□□⑦操作制御設備について、操						
		□□⑧ 操作制御設備の安全装置及	び保護装置の機能・性能確認	『試験について、試験書類を整理し	- 品質の確認ができる。			
		□□⑨ 小配管、電気配線、配管が		ることが確認できる。				
		□□⑩設備の取扱説明書を工夫し						
		□□⑪ 完成図書(取扱説明書)に			3できる。 -			
		□□□□機器の配置が点検しやすい	より上大していることが唯能	らじさる。 **佐伏米ナ安日にベネストミエナ!	-1, 7 - 1, 2° 76-31 2, 7			
		□□□□□設備の構造や機器の配置が	、父換頻度の局い部品等の父	C換作業を谷易に じさるより工大し ABA 計算素によしぬているこしぶね	/ (いることが傩祕でさる。			
		□□⑭ 二次コンクリートの配合試 □□⑮ バルブ類の平時の状態を示	一次のは、またが、または、かられる。	、腴以懙衣によとめしいることが¶ ®ボキニレアいステしが歴知ボネフ	ERIC Cさる。			
		□□⑩計器類に運転時の適用範囲			0.			
		□□□□回転部や高温部等の危険箇						
		□□® 構造物の劣化状況をよく把						
		□□⑬現地状況を勘案し、施工方	注答についての想案を行うだ	・ど積極的に取り組んでいることも	<b>3確認できる</b>			
		□□⑩その他	仏寺に 37 くの歴来を刊 278	これは一般の方面が	.н <del>ш</del> рг С С О 0			
		●判断基準					╗	
		評価値が90%以上・・・	•••• a	① 当該「評価対象項目」の	ち、対象としない項目は削除す	る。		
		評価値が80%以上90%	未満・・ a '	② 削除項目のある場合は削	余後の評価項目数を母数として、	・ 比率(%)計算の値で評価する。		
		評価値が70%以上80%	未満・・ b	③ 評価値(%)=該当項目	目数()/評価対象項目数	( )		
		評価値が60%以上70%	未満・・ b'	④なお、削除後の評価対象項	目数が2項目以下の場合はc評価	mとする。		
		評価値が60%未満・・・	c					
							7	

考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形	機械設備工事				●判断基準			
及び出来ば		「評価対象項目」			評価値が80%超	• • • a		
ス		□① 主設備、関連設備及び操作	制御設備が全体的に統制されて	ており、運転操作性が良い。	評価値が65%超80%以下・	· · · a '		
Ⅲ. 出来ばえ		□② きめ細かな施工がなされて	いる。		評価値が45%超65%以下・	• • • b		
		□③ 土木構造物、既設設備等と	のすりつけが良い。		評価値が25%超45%以下・	· · · b '		
		□④ 溶接、塗装、組立等にあた	って、細部に渡る配慮がなされ	<b>いている。</b>	評価値が10%超25%以下・	• • • c		
		□⑤ 全体的な美観が良い。			評価値が10%以下・・	• • • d		

#### 別表-3(22)

**考查項目別運用表** (検査員)

考査項目	工種	有重要自然是用数 a	a'	b	b'	c	d	(疾且兵/ e
3. 出来形	電気設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
及び出来ば		「評価対象項目」					□品質関係の測定方法又は測	□品質関係の測定方法又は測
え		□□①製作着手前に、品質や性能	の確保に係る技術検討が実施		定値が不適切であったため、	定値が不適切であったため、		
		□□② 材料・部品の品質照合の結			仕様を満足していることが確認で	できる。	監督職員が文書で指示を行い	検査職員が修補指示を行っ
		□□③ 機器の品質、機能及び性能	が設計図書を満足して、成績		改善された。	/C <sub>0</sub>		
		□□④ 操作スイッチや表示灯が承	諾図書のとおり配置され、操作					
Ⅱ. 品質		□□⑤ ケーブル及び配管の接続な	どの作業が、施工計画書に記述					
		□□⑥ 設備の機能及び性能が、設	計図書の仕様を満足している。					
		□□⑦ 操作制御関係の機能及び性	能が、設計図書の仕様を満足	きる。				
		□□⑧ 設備の総合性能が、設計図	書の仕様を満足していること					
		□□⑨ 現場条件によって機器(製品	品)の機能及び性能が確認できた	5.				
		□□⑩ 設備全体についての取扱説	明書を工夫し作成(修繕(改)	きる。				
		□□□□完成図書で定期的な点検や						
		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	や消耗品の取替え作業が容易し	こできるよう工夫していることが	確認できる。			
		□□ <sup>13</sup> その他						
		●判断基準					1	
		評価値が90%以上・・・		① 当該「誕価対象項目」のご	ち、対象としない項目は削除する	ス		
		評価値が80%以上90%			後の評価項目数を母数として、」	=		
		評価値が70%以上80%						
		評価値が60%以上70%			数( ) /評価対象項目数( 目数が2項目以下の場合はc評価			
		評価値が60%未満・・・		© 840 ( 131/31 (K *) IT IIII/1 ( 187 )				
		a i mai nessa o o /ozietina	Ü				┦	

考査項目	工種	a	a'	b	b '	С	d			
与重項目	上1里	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている			
3. 出来形 及び出来ば え	電気設備工事	「評価対象項目」 □① きめ細やかな施工がなされ	ている		●判断基準 評価値が80%超 評価値が65%超80%以下・・・・a					
Ⅲ. 出来ばえ		□② 公共物として、安全性の確 □③ 動作状態において、電気的 □④ ケーブル等の接続方法及び 操作、保守点検等の容易さ □⑥ 全体的な美観が良い。	保、環境及び維持管理等への配 及び機械的な異常が無く、総合 収納状況が適切である。	合的な機能及び運用性が良い。	評価値が45%超65%以下・ 評価値が25%超45%以下・ 評価値が10%超25%以下・	· · · b				

#### 別表-3(23)

**考查項目別運用表** (檢查員)

<b>本</b> 木石口	丁種	<u> </u>	_,	1 1	ı,	_	1 4	(侯丑兵)
考査項目	工種	<b>a</b>	a 1 上 h / 声 lo マンフ	<b>0</b> かか <b>に</b> いフ	b'	(h, 0) = 1 (m) = 2 + 1 ( 1	d	e e
3. 出来形	通信設備工事・受	優れている	bより優れている	やや優れている	c より優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
及び出来ば	変電設備工事	「評価対象項目」					□品質関係の測定方法又は測	□品質関係の測定方法又は測
~		□□① 設計図書に定められている	品質管理を実施していること	が確認できる。			定値が不適切であったため、	定値が不適切であったため、
		□□② 材料及び構成部品の品質及	び形状について、設計図書等。	と適合が確認できる証明書等を整	備していることが確認できる。		監督職員が文書で指示を行い 改善された。	検査職員が修補指示を行っ
		□□③材料の品質照合の結果が、	品質保証書等(現物照合を含む	い) で確認でき、設計図書の仕様	を満足していることが確認できる	)	以告された。	た。
		□□④ 設備、機器の品質、機能及	び性能が、成績等で確認でき、					
Ⅱ. 品質		□□⑤ケーブル及び配管の接続な						
		□□⑥ 設備全体としての運転性能						
		□□⑦完成図書において、設備の			ていることが確認できる			
		□□8 完成図書において、単体品						
		□□⑨ 設備全体及び各機器におい						
		□□⑩設備全体についての取扱説						
		□□□□ 完成図書で定期的な点検や						
		□□⑫設備の構造において、点検	や消耗品の取替え作業が容易り	こできるよう工夫していることが	確認できる。			
		□□® その他						
		●判断基準						
		評価値が90%以上・・・	• • • • • a	① 当該「評価対象項目」のう	ち、対象としない項目は削除する	5.		
		評価値が80%以上90%	未満・・ a '	② 削除項目のある場合は削除	後の評価項目数を母数として、比	比率(%)計算の値で評価する。		
		評価値が70%以上80%	未満・・ b	③ 評価値(%)=該当項目	数()/評価対象項目数(	)		
		評価値が60%以上70%	未満・・ b'	④なお、削除後の評価対象項目	目数が2項目以下の場合はc評価	とする。		
		評価値が60%未満・・・		3 3.4.1 May 2 2 41 may 3 3 4 7 1	- M - M - M - M - M - M - M - M - M - M	2,30		
		町岡區2.00/0/村岡	C				4	

考査項目	工種	a	a'	b	b '	С	d	
与且项目	上1里	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
	通信設備工事		•	•	●判断基準	•	•	
及び出来ば	受電電設備工事	「評価対象項目」			評価値が80%超	• • • a		
ス		□① 主設備、関連設備等にきめ	細かな施工がされている。		評価値が65%超80%以下・	• • • • a '		
Ⅲ. 出来ばえ		□② 公共物として、安全性の確	保、環境及び維持管理等への配	己慮がなされている。	評価値が45%超65%以下・	• • • • b		
		□③ 動作状態において、電気的	及び機械的な異常が無く、総合	合的な機能や運用性が良い。	評価値が25%超45%以下・	· · · · b '		
		□④ 当該設備及び関連設備が全	:体的に協調及び統制され、総合	合的な性能向上への配慮がなされ	1 評価値が10%超25%以下・	· · · · c		
		□⑤ 操作、保守点検等の容易さ	を確保するための配慮がなされ	<b>いている。</b>	評価値が10%以下・・	• • • • d		
		□⑥ 全体的な美観が良い。						

			与且仅口则进用权									(検査員)
考査項目	工種		а	a'	b	b'			С		d	е
3. 出来形 及び出来ば え . 品質	出来形 が出来ば					判断基準参照>	つきの評価 ばらつきが ばらつきが ばらつきで <sup>*</sup>	50%以下 30%以下 30% 处形		定値が不	関定方法又は測 適切であったため、 適切であったため、 が文書で指示を行い た。	口品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、 検査職員が修補指示を行っ た。
		2	削除項目のある場合は削除行 評価値 (%)=該当項目数	ち、対象としない項目は削除す 後の評価項目数を母数として、 数 ( ) /評価対象項目数 数が 2 項目以下の場合は c 評価	比率(%)計算の値で評価する。 ( )	●判断基準    90%以上   75%以上90%未満   60%以上75%未満   60%未満   注 試験結果の打点数等が (評価値) だけで判断する	50%以下 a a' b b' 少なくばらつ:	らつきで判断 80%以下 a' b' c' さの判断がで	80%を越える b b' c	ばらつきで 判断不可能 b b' c c 価対象項目		

考查項目	工種	a	a'	b	b '	c	d	
与重視日	上個	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形	ため池工事							
なび出来ば		「評価対象項目」			●判断基準			
-		□① 土工の仕上げがよい。			評価値が80%超	• • • a		
[. 出来ばえ		□② 土工の構造物等へのすりつ	けがよい。		評価値が65%超80%以下・	· · · a '		
		□③ コンクリート構造物の肌が	よい。		評価値が45%超65%以下・	• • • b		
		□④ コンクリート構造物の通り	がよい。		評価値が25%超45%以下・	· · · b '		
		□⑤ 天端仕上げ、端部仕上げ等	がよい。		評価値が10%超25%以下・	• • • c		
		□⑥ 漏水がない。				• • • d		
		□⑦ 全体的な美観が良い。						

		与且使日別運用权								(検査員)
考査項目	工種	a	a'	b	b '	c	d			е
3. 出来形 及び出来ば え	ほ場整備工事		管理基準、その他設計図書に定 - 4参照。	況(評価値)から判断する。<判 Eめられた試験]	断基準参照>		□品質関係の測定 定値が不適切であ 監督職員が文書で 改善された。	ったため、	定値が不適り	の測定方法又は測 刃であったため、 修補指示を行っ
Ⅱ. 品質		□□② 材料の品質規定証明書が整□□③ 地区内の地表水及び地下水□□④ 濁り等の防止に十分留意し□⑤ 石礫、根株等の除去は住様、進入路について耕作に支障□□⑩ 開・排水路の縦断勾配等に□□⑩ 用・排水路の施工基面が平□□⑪ 用・排水路の施面の通りが回□⑫ 構造等の根入れが図面だココ□□⑭ 二次製品の吊り込み、据付	備されている。 を排除してドライの状態で施 て施工している。 書に定めたとおり実施してい 書に定めたとおり実施してい 整ないように施工されている。 計図書により施工されている。 けいては、ほ場面標高等を考 滑に仕上げられている。 よい。 は、仕様書に示す条件に り実施されていることが確認 ンクリート構造物にきめ細か	る。 地は、仕様書及び設計図書により 。 。 慮して施工されている。 より締め固めが実施されている。 できる。 な施工がうかがえる。	施工されている。	□ ばらつき □ ばらつき	価 が50%以下 が80%以下 が80%を超える で判断不可能			
						●判断基準				
							li li	ずらつきで判断	可能	ばらつきで
							50%以下	80%以下	80%を越える	判断不可能
		① 当該「評価対象項目」の	うち、対象としない項目は削	除する。		90%以上	a	а'	b	b
		② 削除項目のある場合は削	除後の評価項目数を母数とし	て、比率(%)計算の値で評価する。		而 75%以上9		b	b '	ь'
		③ 評価値(%)=該当項	[目数 ( ) /評価対象項目	1数 ( )		値 60%以上7	5 %未満 b	p .	С	С
		④なお、削除後の評価対象	項目数が2項目以下の場合はc	: 評価とする。		/ / / / / / / /		c )きの判断がで	c きない場合は評 	6価対象項目

考査項目	工種	а	a'	b	b '	С	d	
与重项目	上作	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
	ほ場整備				•			
び出来ば		「評価対象項目」			●判断基準			
		□① 均平度がよい。			評価値が80%超	• • • a		
出来ばえ	•	□② 土工の仕上げがよい。			評価値が65%超80%以下・	· · · a '		
		□③ 土工の通りがよい。			評価値が45%超65%以下・	• • • b		
		□④ 土工の構造物等へのすりつ	けがよい。		評価値が25%超45%以下・	· · · b '		
		□⑤ 用・排水路の通りがよい。			評価値が10%超25%以下・	• • • c		
		□⑥ コンクリート構造物の通り	がよい。		評価値が10%以下・・	• • • d		
		□⑦ 全体的な取扱がしやすい。						

		~~	11. 17. 17. 17. 17. 17. 17. 17. 17. 17.										(検査員)
考査項目	工種		а	a'	b		b '			С		d	е
3. 出来形及び出来ばえ	農地造成工事	[関連 ※ / 「評 □□① 仕様	連基準、土木工事施工管 ばらつきの判断は別紙- F価対象項目」 続書等で定められている。	予理基準、その他設計図書に定 - 4 参照。 品質管理が実施されている。	兄(評価値)から判断する。< められた試験]	判断基準	≢参照>				定値がる		□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、 検査職員が修補指示を行っ た。
Ⅱ.品質		□□③ 地区 □□④ 防災 □□⑤ 代開 □□⑥ 抜根 □□⑦ 基盤 □□⑧ 土壌	後施設が施工計画のとお 別物処理は、関係法令に 、排根は仕様書及び設 登造成、法面植生、雑物 後改良資材の撒布は仕様	を排除してドライの状態で施力 り施工している。 より施工されている。 計図書により施工されている。 及び石礫除去、耕起は仕様書。 書及び設計図書により施工され	及び設計図書により施工されて			らつきの評価 ばらつきが ばらつきが ばらつきが ばらつきで	50%以下 80%以下 80%以下	える			
						●判断	计准						
						<b>→</b> +1189	1 412	ゖ゙	<u>」</u> らつきで判断	可能	ばらつきで		
									80%以下	80%を越える	判断不可能		
				対象としない項目は削除する	•	9	0%以上	a	a '	b	b		
			.日のめる場合は削除後の :( %)=該当項目数	<ul><li>)評価項目数を母数として、比</li><li>( ) /評価対象項目数(</li></ul>	平(%)計算の値で評価する。 、	部 7	5%以上90%未満	a'	b	ь'	b '		
		O		が2項目以下の場合はc評価。	ノ	値 6	0%以上75%未満	b	ь'	с	С		
		色なわ、月	別が仮い計画対象項目数	か 2 曳日以下の場合は C 計価。	_ y る。		0 %未満 【験結果の打点数等が	b'	Cの判除がつ	C シカい担合けが	C 体外色項目		
							(験結果の打点数等が f値) だけで判断する		ラの制削が に	さない場合は許	対 家 垻 日		

考査項目	工種	а	a'	b	b '	С	d	
与且供口	上/里	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形	農地造成							
及び出来ば		「評価対象項目」			●判断基準			
え		□① 勾配がよい。			評価値が80%超	• • • a		
Ⅲ. 出来ばえ	•	□② 土工の仕上げがよい。			評価値が65%超80%以下・	• • • a '		
		□③ 切土・盛土法面のとおりが	よい。		評価値が45%超65%以下・	• • • b		
		□④ 雨水処理がよい。			評価値が25%超45%以下・	• • • b '		
		□⑤ 排水路の通りがよい。			評価値が10%超25%以下・	• • • c		
		□⑥ 全体的な美観が良い。			評価値が10%以下・・	• • • d		

		与且使日別座用权								(検査員)
考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d			е
3. 出来形 及び出来ば え II. 品質	管水路工事	□ 品質関係の試験結果のばら [関連基準、土木工事施工等 ※ ばらつきの判断は別紙 「評価対象項目」 □ ① 仕様書等で定められている □ ② 材料の品質規定証明書が整 □ □ ③ 中心線の通りがよい。 □ □ ④ 仕様書等で示す条件により □ □ ⑤ 管の両側面が均等に埋め戻	断基準参照 >	ばらつきの評価     ばらつきが50%     ばらつきが80%     ばらつきが80%     ばらつきが80%     ばらつきで判断不す	以下 ・超える	あったため、	定値が不適り	の測定方法又は測 別であったため、 多補指示を行っ		
		□□⑥ 地盤面、基礎面に不陸が生 □□⑦ 管の吊り込み、据付けの際 □□⑧ コンクリート構造物にきめ	に常に十分な注意を払っている			●判断基準	- 0 0/N	ばらつきで判断		ばらつきで 判断不可能
		① 水漱「	評価対象項目」のうち、対象と	1 かい頂日は削除する		0.00/19/1	50%以	80%以下	80%を越える	29 Co. 12164 Cd.
				目数を母数として、比率(%)計算	の値で誕価する	90%以上	a a	a	b , ,	b
		③ 評価値		/評価対象項目数()	V ) 恒 C F1   山 ケ . J 。	価 75%以上9 値 60%以上7		ь,	D	D
			除後の評価対象項目数が2項目			個 60%以上7 60%未満	b,	C	c	c
		0.840.	TOTAL CONTROL OF SELECTION OF S	70.1 · 2 % 1 1 × 2 H   IIII C 7 × 20		注 試験結果の打 (評価値) だけで	点数等が少なくばら 判断する。	つきの判断がで	きない場合は評	価対象項目

考査項目	工種	a	a'	b	ь'	С	d	
与重项日	上准	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形	管水路工事				●判断基準			
及び出来ば		「評価対象項目」			評価値が80%超	• • • a		
ス		□① 管の通りがよい。			評価値が65%超80%以下・	• • • a '		
Ⅲ. 出来ばえ		□② 付帯コンクリート構造物の	肌がよい。		評価値が45%超65%以下・	• • • b		
		□③ 付帯コンクリート構造物の	通りがよい。		評価値が25%超45%以下・	• • • b '		
		□④ 付帯コンクリート構造物に	クラックがない。		評価値が10%超25%以下・	• • • c		
		□⑤ 全体的な美観が良い。			評価値が10%以下・・	• • • d		

(検査員) 考查項目 С е □品質関係の測定方法又は測 3. 出来形 港湾工事(浚渫・ □品質関係の測定方法又は測 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 定値が不適切であったため、 及び出来ば 海岸築造工事を含 定値が不適切であったため、 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 監督職員が文書で指示を行い 検査職員が修補指示を行っ む) ※ ばらつきの判断は別紙-4参昭。 改善された。 「評価対象項目」 【共通】 □□① 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 Ⅱ. 品質 □□② 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 航行船舶に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 □□④ 材料等の品質に異常値が想定されている場合、品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる。 □□⑤ 気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。 □□⑥ 一般船に十分注意して施工していることが確認できる。 □□⑦ 作業船が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。 【浚渫・床掘関係】 □□⑧ 土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工していることが確認できる。 | 浚渫工又は床堀工について仕様書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 □□⑩ 潮位及び潮流、波浪等の状況を十分把握して施工されていることが確認できる。 □□⑪ 土質改良を適切に行っていることが記録で確認できる。 □□⑫ 土捨場土量に制約がある場合、適切な土量で、許容範囲に精度良く平坦に仕上がっていることが確認できる。 |土捨場に制約がなく、深堀しても周辺構造物に影響がない場合、今後の埋没も考慮し、深く平坦に仕上がっていることが確認できる。 凌渫・床堀時に濁り防止に十分注意して、漏出がないように施工していることが確認できる。 □□⑮||浚渫工又は床堀工において、作業現場の土質条件、海象条件、周辺海域の利用状況を考慮して、効果的作業が可能な作業船を選定していることが確認できる。 □□⑮|土砂運搬において、施工の効率、周辺海域の利用状況を考慮して、土砂の運搬経路を決定していることが確認できる。 □□□□□床堀工において、底面、法面の施工で出来形の許容範囲を超えた場合、置換材と同等以上の材料で埋戻しを行っていることが確認できる。 □□® 置換材の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。 □□® 砲弾等の爆発物が発見された場合、関係機関への報告が速やかになされていることが確認できる。 【地盤改良関係】 □□20 改良材料の品質管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 □□21 浮泥を巻き込まないよう置換材を投入していることが確認できる。 □□22|サンドドレーン・砕石ドレーン・サンドコンパクションパイル及びロッドコンパクションが連続した一様な形状・品質に施工されていることが打込記録等により確認できる。 □□23|ペーパードレーンが計画深度まで破損なく正常に形成されていることが打込記録等により確認できるとともに、打設を完了したペーパードレーンの頭部が保護され、排水効果が維持されていることが確認できる。 □□24 深層混合処理の打込記録等から、仕様書に定められている事項が確認できる。 □□25 前記以外の改良方法について、記録から仕様書に定められている事項が確認できる。 □□26 盛上り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。  $\square \square 27$ 捨石、被覆石等の石材は、扁平細長でなく、風化凍壊の恐れがないものが使用されていることが確認できる。 □□28 施工面から浮泥等の品質の害となるものを除去してから施工されていることが確認できる。 □□29 マットの施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。 □□30 | 捨石、被覆及び根固め石の施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。 【マット、捨石及び均し関係】 □□31 捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。 マットが破損なく所定の幅で重ね合わせられていることが写真記録等により確認できる。 □□33 捨石、被覆及び根固め石がゆるみのないよう堅固に施工され、記録により確認できる。 □□34 裏込めが既設構造物及び砂防目地板の破損がなく施工され、記録により確認できる。 【本体: 杭及び矢板、控工関係】 □□35 鋼材の規格・数量がミルシート等(現物照合を含む)で確認できる。 □□36 鋼材の保管にあたり、変形及び塗覆装面に損傷を与えないよう、適切に処置されていることが確認できる。 □□37 杭及び矢板に損傷及び補修痕がなく施工されていることが確認できる。 □□38 杭及び矢板の打止めの施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。 □ □ 39 |腹起し材を全長にわたり規定の水平高さに取り付け、ボルトで十分締め付け矢板壁に密着させていることが確認できる。 □□40 タイロッドは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。  $\Box\Box41$ タイワイヤーは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。 □□42 溶接及び切断の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。 【本体:ケーソン据付、ブロック据付関係】 □□43|ケーソン仮置に先立ち仮置場を調査し、仮置作業が所定の位置に異常なく行われていることが確認できる。 ケーソン据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。 □□45 ケーソン据付等及び中詰においてケーソン及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。 □□46 コンクリートブ<sup>\*</sup>ロック据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。 □□47 ブロック据付等においてブロック及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。

#### 別表-3(28)-2

考查項目別運用表 (検査員) 考查項目 港湾工事(浚渫・□□48 ケーソンえい航に先立ち、気象・海象を十分調査し、適切な時期を選定されていることが確認できる。 3. 出来形 及び出来ば海岸築造工事を含 □□49 ケーソンえい航に先立ち、上蓋、安全ネット又は吊り足場等を設置し、墜落防止の措置を講じていることが確認できる。 (2t □□50 ケーソン注水時の隔室の水頭差が1m以内になるように管理されていることが確認できる。 □□51 ケーソン仮置き、据付の時期について、仕様書を満足するよう実施されていることが確認できる。 □□52 中詰において海上漏出がないように施工されていることが確認できる。 【コンクリート関係】 Ⅱ. 品質 □□53|設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び現場練りコンクリートの場合は試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度、W/C、最大骨材粒径、塩基総量等)が確認できる。 □□54 コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等を試験した結果が確認できる。 □□55 コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 □□56|施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種が仕様書に定められた条件を満足していることが確認できる。 (寒中及び暑中コンクリート等を含む) □□57|コンクリート強度を管理し必要な強度に達した後に型枠、支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 □□58 鉄筋の規格が品質を証明する書類で確認できる。 □□59 鉄筋の引っ張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。 □□60 コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物質が鉄筋に付着しないよう保管管理がされていることが確認できる。 ばらつきの評価 □□61 鉄筋の組立・加工が設計図書を満足したものであることが確認できる。 □ ばらつきが50%以下 □□62 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 □ ばらつきが80%以下 □□63 スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。 □ ばらつきが80%を超える □ ばらつきで判断不可能 □□64 コンクリートの養生が、仕様書に定められた通り行われていることが確認できる。 □□65 有害なクラックがない。 【全体】 ●判断基準 □□66 その他 ばらつきで判断可能 (理由: ばらつきで 判断不可能 50%以下 80%以下 80%を越える 90%以上 ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 75%以上90%未満 ь' ъ, h 価 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 値 60%以上75%未満 b Ъ' С С ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数() 60%未満 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで判断する。

考查項目	工種	a	a'	b	b '	c	d
与重项日	上1里	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
3. 出来形	港湾築造工事				●判断基準		
及び出来ば		「評価対象項目」			評価値が80%超	• • • a	
え		□① 構造物の通りがよい。			評価値が65%超80%以下・	• • • • a '	
Ⅲ. 出来ばえ		□② 施工管理記録等から不可視	部分の出来ばえの良さがうか	がえる。	評価値が45%超65%以下・	• • • • b	
		□③ 構造物等の表面及び端部の	仕上げがよい。		評価値が25%超45%以下・	· · · · b '	
		□④ きめ細やかな施工がなされ	ている。		評価値が10%超25%以下・	· · · · c	
		□⑤ 全体的な美観が良い。			評価値が10%以下・・	• • • • d	
		□⑥ クラックがない (コンクリ	ート工事が含まれる場合)				
	港湾浚渫工事				●判断基準		
		「評価対象項目」			評価値が80%超	• • • a	
		□① 規定された水深・勾配又は	改良深度等が確保されている。		評価値が65%超80%以下・	···a'	
		□② 施工管理記録等から不可視	部分の出来ばえの良さがうか	がえる。	評価値が45%超65%以下・	· · · · b	
		□③ 施工後の表面及び底面等の	全体的な仕上げがよい。		評価値が25%超45%以下・	· · · · b '	
		□④ 浚渫及び盛上り等の土砂が	適切に処理されている。		評価値が10%超25%以下・	· · · · c	
ı					評価値が10%以下・・	• • • • d	

			<b>少且仅日加建川</b> 级									(検査員)
考査項目	工種		a	a'	b	b'	С	)		d		е
3. 出来形 及び出来ば え	建築工事			管理基準、その他設計図書に定	R(評価値)から判断する。<判 められた試験]	斯基準参照 <i>&gt;</i>			定値が不適	の測定方法又は 切であったため 文書で指示を行	か、 定値がる	関係の測定方法又は測 ド適切であったため、 員が修補指示を行っ
Ⅱ. 品質			施工計画書に定められた品 材料の品質証明が適切であ	質計画により管理されている。 る。 質管理記録が整備されている。			ばらつきの評価			_		
1. mg			品質管理方法が明確である 品質・形状が適切で良好な 不可視部分の写真記録が適	。 施工である。			はらつぎの評価 □ ばらつきが50 □ ばらつきが80 □ ばらつきが80	%以下 %を超える				
						•	判断基準					
								ば	らつきで判断す	了能	ばらつきで	
								50%以下	80%以下	80%を越える	判断不可能	
			評価対象項目」のうち、対				90%以上	a	а'	b	ь	
				価項目数を母数として、比率(%)	計算の値で評価する。	行	75%以上90%未満	a'	b	b'	b '	
	`	) 評価値		) /評価対象項目数 ( ) 項目以下の場合は c 評価とする		i i	60%以上75%未満	b	Ъ'	с	С	
	(4)	<b>ルなわ、</b> F	刊际仮の評価対象項目数か 2	項目以下の場合はで評価とする	0.0		60%未満	b '	С	c	С	
				I			<ul><li>試験結果の打点数等が (評価値)だけで判断する。</li></ul>		*の判断ができ	ない場合は評	価対象項目	

考査項目	工種	а	a'	b	b '	С	d	
与且供口	11年	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形	建築工事				●判断基準			
及び出来ば		「評価対象項目」			評価値が80%超	• • • a		
ス		□① きめ細かい施工がなされ取	り合いの納まりや端部の仕上れ	がりが良い。	評価値が65%超80%以下・	· · · a '		
Ⅲ. 出来ばえ		□② 関連工事との調整がなされ			評価値が45%超65%以下・	• • • b		
		□③ 使い勝手や使用者の安全に	対する配慮が適切である。		評価値が25%超45%以下・	b'		
		□④ 仕上がりの状態が良好で色	調が均一で色むら等がない。		評価値が10%超25%以下・	• • • c		
		□⑤ 全体的な美観が良い。				• • • d		

		与重視日別運用衣									(検査員)		
考査項目	工種	a	a'	b		b '	С			d	е		
3. 出来形 及び出来ば え	下水道工事	[関連基準、土木工事施工学 ※ ばらつきの判断は別紙・ 「評価対象項目」	材料の品質、形状が設計図書との適切性が確認でき、証明書が整理されている。										
Ⅱ. 品質		□□② 設計図書に基づくコンクリ□□③ コンクリート打設時の必要□□④ コンクリート供試体が当該□□⑤ 施工条件及び気象条件に適節回□⑥ 滞固めを適切な条件で施工□□③ 測量及び測量結果を毎日整□□⑨ 常に切羽及び地表面の状態□□⑩ 鋼材の員数照合がミルシー	一トの配合試験及び試験練が な供試体を採取し、強度・ス 現場の供試体であることが投入 した運搬時間、打設時の股が 管理が、プラント出荷。現分に空現場 で理が、プラント出荷。 を観察して施工されている を観察して施工されている に現場照合を含む)で確	行われており、適切なコンクリランプ空気量等を適切に行って認できる。 高さ、締固時のバイブレータの生じていない。 到着、舗装時等で整理されてい行われた。 とが確認できる。	いる。 機種、養生方法等 る。		□ ばら・ □ ばら・	の評価 つきが 5 0 % J つきが 8 0 % J つきが 8 0 % Z つきで判断不可	以下 を超える				
		□□⑩ 溶接作業に当たり、作業員 □□⑫ 二次コンクリート打設時に	の技重確認を11つ(いる。 、付属物除去のため十分な水:	洗清掃を行っている。		777102	ば	」 らつきで判断	可能	ばらつきで			
							50%以下	80%以下	80%を越える	判断不可能			
	① 当該「誕	 価対象項目⊥のうち、対象としなレ	項目け削除する		<b>ラ</b> で	90%以上	a	a'	b	b			
		のある場合は削除後の評価項目数を	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	直で評価する。	価	75%以上90%未満		b	ь'	ь'			
	③ 評価値(	%)=該当項目数( )/評	価対象項目数()		値	60%以上75%未満	b	b '	С	С			
	④なお、削隊	余後の評価対象項目数が 2 項目以下 		60%未満   b'   c   c   c   c   注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項(評価値)だけで判断する。									

考査項目	工種	a a'		b	b '	С	d	
与重项日	二二1里	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形	下水道工事				●判断基準			
及び出来ば		「評価対象項目」			評価値が80%超	• • • a		
ス		□① 通りがよい。						
Ⅲ. 出来ばえ		□② 漏水がない。			評価値が45%超65%以下・	• • • b		
		□③ クラックがない。			評価値が25%超45%以下・	• • • b '		
		□④ マンホール天端と路面のす	りつけがよい。		評価値が10%超25%以下・	• • • c		
		□⑤ 全体的な美観が良い。			評価値が10%以下・・	• • • d		

### 考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	1	b '	С			d		使且貝) e
3. 出来形 及び出来ば え	コンクリート二次 製品		管理基準、その他設計図書に定	祝(評価値)から判断する。<キ Eめられた試験]	断基準参照>				定値が不適切	測定方法又は》 」であったため、 書で指示を行い	定値が不通	系の測定方法又は測 通切であったため、 が修補指示を行っ
Ⅱ. 品質		【共通】 □□①材料の品質が証明書又は試□□②設計図書で定められた条件□□③施工基面が平滑に仕上げら【水路等据付工】	が満足されていることが、書れ、構造物の基礎材料の材質及	び締固め等が適切であることが	確認できる。		ばらつきの評価 □ ばらつきが □ ばらつきが □ ばらつきが	50%以下 80%以下 80%を超え	る 			
		□□④ 継目部の施工にあたって、作□□⑤ 側溝蓋 グレーチング等の№ その他 【擁壁据付工】□□⑦ 支持地盤の地耐力が平板載□□⑧ 目地施工が設計図書に適合□□⑩ 調整コンクリートの材質及	付帯構造物がゆるみがなく固定 荷試験等で確認されているこ し、接合面の付着・水密性が確	きされている。 とが確認できる。 保されていることが確認できる。		② 削除項 ③ 評価値	「評価対象項目」のうち、対 項目のある場合は削除後の計 直(%)=該当項目数( 削除後の評価対象項目数が	平価項目数を日 ) /評価	₽数として、比 対象項目数(	- 率(%)計算の値 <sup>*</sup> )	で評価する。	
		□□⑩ その他 【 (大型) ブロック積 (張	)、石積(張)工】				●判断基準					
		□□⑩ 支持地盤の地耐力が平板載 □□⑩ 裏込材、胴込めコンクリー	トの充填または締固めが充分	で、空隙が生じていないことが確				ば 50%以下	らつきで判断す 80%以下	可能 80%を越える	ばらつきで 判断不可能	
		□□③ 目地の処理及び施工間隔、3 □□④ その他	きた、水抜きパイプの配置及び	吸出し防止対策が適切に施工され	1ていることが確	認できる	90%以上	a	a '	b	b	
		【補強土壁工等】	and the literature				7 5 %以上 9 0 %未満 6 0 %以上 7 5 %未満	a '	b b'	b '	b '	
		□□⑮ 設計図書で定められたタイ□□⑯ 盛土材料の土質試験を行い	、締め固めを適切な条件で行っ	っていることが確認できる。			<ul><li>値 60%未満</li><li>注 試験結果の打点数等が</li></ul>	ъ,	С	c c ない場合け評(	С	
		□□⑪ 設計図書で定められた暗渠 □□⑱ 壁面に接するフィルター材 □□⑲ その他					(評価値) だけで判断する		C > Table C C	- w - w ц ф П	M/J Ø X E	

### 考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b '	С	d	
与且使日	,-	優れている bより優れている		やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え Ⅲ. 出来ばえ	コンクリート二次製品	「評価対象項目」  「評価対象項目」 構造物に有害なひび割れや 「常造物の通りがよい。 「部では、「は部性上げ、端部性上げ等 のでは、「のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	がよい。		●判断基準 評価値が80%超 評価値が65%超80%以下・ 評価値が45%超65%以下・ 評価値が25%超45%以下・ 評価値が10%超25%以下・	· · · b · · · b · · · · c		
		□⑤ 全体的な美観が良い。			評価値が10%以下・・	• • • d		

### 考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	$\langle A \rangle$	а	a'	b	b '	С	d	е
3. 出来形		\A/	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
及び出来ばえ	浚渫工事	⟨B⟩		管理基準、その他設計図書に定	犬況(評価値)から判断する。< められた試験]	判断基準参照>		□品質関係の測定方法又は測 定値が不適切であったため、 監督職員が文書で指示を行い 改善された。	□品質関係の測定方法又は測 定値が不適切であったため、 検査職員が修補指示を行っ た。
Ⅱ. 品質			理由						
			理由					ち、対象としない項目は削除する 後の評価項目数を母数として、比 数 ( ) /評価対象項目数 (	1
							④なお、削除後の評価対象項目	数が2項目以下の場合はc評価。	とする。
		評価値	90%以上	ばらつきで判断可能 ) %以下 80%以下 80%以下 80%を b a' b b' c c c	) ,	ばらつきの評価	۵ ۵		

考査項目	工種	а	a'	b	b '	С	d	
与且供口	,	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え Ⅲ. 出来ばえ		「評価対象項目」  ① 細心の注意が払われて施工  ② きめ細かな施工がなされて  ③ 現河床とのすりつけが良い  ② 全体的な美観が良い。	いる。		評価値が65%超80%以下・ 評価値が45%超65%以下・ 評価値が25%超45%以下・ 評価値が10%超25%以下・	· · · b · · · b' · · · c		
					評価値が10%以下・・	• • • d		

### 考査項目別運用表

(検査員)

考査項目		工種	$\langle A \rangle$	а		a'		b	b '	С	d	е
3. 出来形			\A/	優れてい	いる	b より優ね	れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
及び出来ばえ	多工種	<b>复合工事</b>	⟨B⟩ [[	関連基準、土		里基準、その他		状況(評価値)から判断する。< められた試験]	判断基準参照 >		□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、 監督職員が文書で指示を行い 一改善された。	□品質関係の測定方法又は測 定値が不適切であったため、 検査職員が修補指示を行っ た。
Ⅱ. 品質			該	当工種	各	-工種の評価値	(%)				SABCAVICO	/Co
						多工種工事	の製圧は					
			*	各工種毎(最	大3工種)の			※各工種の単純平均 D試験結果のばらつきで判断				
	●判断	基準										
				ば	らつきで判断す	可能	ばらつきで					
				50%以下	80%以下	80%を越える	判断不可能	ばらつき				
	<sup>∌α;</sup> 9	0%以上		a	a'	b	ь		つきが50%以下 つきが80%以下			
		5%以上90		a'	b	ь'	ь'		つきが80%を超える			
	III.	0%以上75	%未満	b	ь'	С	С	□ ばら	つきで判断不可能			
		0 %未満		b '	С	С	С					
		:験結果の打点 i値)だけで判			きの判断ができ	ない場合は評	価対象項目					
	(871)	一直 たりてや	ه کا اختاد									
	l										1	1

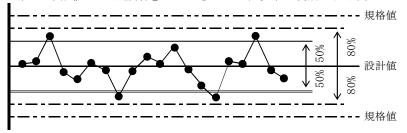
考査項目	工種	a	a'	b	b '	c	d	
つ旦欠日	上/里	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え Ⅲ. 出来ばえ	多工種複合工事	該当工種	各工種の評価値	計価級 ( ) / 計価対象項目 (	●判断基準 評価値が80%超 評価値が65%超80%以下・ 評価値が45%超65%以下・ 評価値が25%超45%以下・			
		<b>多工種工事の評価値</b> ※各工種評価値の単純平均		評価値が10%超25%以下・ 評価値が10%以下・・	· · · c · · · d			

#### 別紙-4

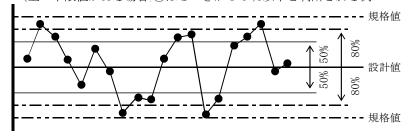
1. 出来形及び品質のばらつきの考え方

[ 管理図の場合]

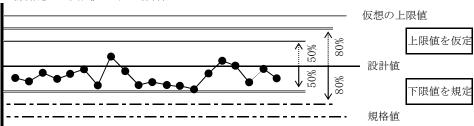
(上・下限値がある場合]①ばらつきが50%以下と判断される例



(上・下限値がある場合 ②ばらつきが80%以下と判断される例

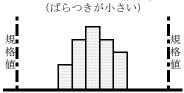


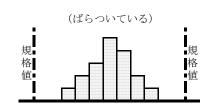
(規格値が下限値のみの場合)

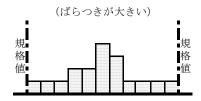


※上限値のない場合のばらつきの考え方は、下限値と同様な値があるものと仮定し、 ばらつきの%を考慮する。

#### [ 度数表またはヒストグラムの場合 ]







#### 2. 多工種複合工事の取り扱い

- (1) 多工種工事の場合は、主たる3工種以内で評定する。ただし、それ以外の工種で重要な場合は3工種以内に含むことができる。
- (2) コンクリート橋は、プレテンション桁等、工場で製作される構造物も対象とする。
- (3) 評定は「多工種複合工事」欄を活用する。

#### 3. コンクリート構造物のクラックについて

- (1) クラックが発生した構造物では「進行性または有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置をしている」等が見られたら、c評価とする。
- (2) クラックが発生した構造物では「進行性または有害なクラックがない」場合、無処理の場合は、d評価とする。
- (3) クラックが発生した構造物では「進行性または有害なクラックがある」場合、無処理の場合は、e評価とする。

#### 4. その他

- ・「施工プロセス」チェックリストを活用して、評定を行う。
- ・「4. 工事特性」「5. 創意工夫」「6. 社会性等」は、請負者から提出された実施状況に関する書類を活用して、評定を行う。

〇〇〇〇事務所

工事名: 〇〇〇〇第〇〇〇〇〇〇一〇〇〇号工事 一般(主任)監督員名:

請負者名: (株)□□建設 主任(総括)監督員名:

# 施工プロセスチェックリスト(現場確認用)

【対象】該当あり:レ点 、該当なし:空欄

【結果】確認済み: 〇 、確認不可: ×

【判定】評価あり:〇 、評価なし:×

X	分	考査項目	対象	確認日	結果	記録	判定
	施工体	③作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体系図に明確に記載している。					
	制一般	⑥施工計画書の内容と現場施工方法が一致してい る。					
— 般		②作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任 及び配置している。					
般・主任監督員		③現場代理人が、工事全体を把握している。					
<b>首</b>	配置技術者	⑦契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理解 し、施工に反映している。					
		⑨下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。					
		⑩監理(主任)技術者が、明確な根拠に基づいて技 術的な判断を行っている。					

区	分	考査項目	対象	確認日	結果	記録	判定
		④ 工事材料の品質に影響が無いよう保管している。					
		⑤ 日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画 書に基づき、適時及び的確に行っている。					
_	施工	⑥ 日常の品質管理を、設計図書及び施工計画書 に基づき適時及び的確に行っている。					
般・主任監督員	管 理	⑦ 現場内の整理整頓を日常的に行っている。					
員		⑧ 指定材料の品質証明書及び写真等を整理している。					
		① 工事全般において、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。					
	工程管理	③ 実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。					

区	分	考査項目	対象	確認日	結果	記録	判定
		⑥ 過積載防止に取り組んでいる。					
_	安 一 全	⑦ 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。					
般・主任監督員	安全管理	⑧ 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基づき実施している。					
員		⑨ 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。					
	対 外 関 係	⑥ 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。					

## 工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況

上 事	名		
	者名		
項目	評価内容	備	考
□ 工事特性	□ 構造物の特殊	殊性への対応	
でて※	□ 1. 対象	象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模が特殊な工事	
あ、1	□ 2. 対象	象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事	
る特 。異工	□ 3. その	の他	
なな事	□ 都市部等の作	作業環境、社会条件等への対応	
お技特	□ 4. 地盘	盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事	
、術性	□ 5. 周辺	辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事	
評力と		辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事	
価をは は要 、	□ 7. 現道	道上での交通規制に大きく影響する工事	
ママン	□ 8. 緊急	急時に対応が特に必要な工事	
創る事	□ 9. 施□	工箇所が広範囲にわたる工事	
意必全	□ 10. そ	その他	
工要体	□ 厳しい自然・均	地盤条件への対応	
夫がを _ あ通	□ 11. 特	時殊な地盤条件への対応が必要な工事 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
とっし	□ 12. 雨	F・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事	
のたて	□ 13. 急	急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事	
二技他	□ 14. 動	が植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事	
重術の	□ 15. <b>そ</b>	その他	
評力類 価を似	□ 長期工事にお	おける安全確保への対応	
は評工	□ 16. 12	2ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事(全面一時中止期間は除く)	
し価事	<b>※</b> 1	但し、文書注意に至らない工事は除く。	
なすに	□その他	也(	
いる比			
。も <i>べ</i> の			
V			

### 工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況

□ 創意工夫	□ 施工関係
夫※	□ 1. 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫又は、設備据付後の試運転調整の工夫
\$	□ 2. コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫
ノ創	□ 3. 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関係する工夫
ウ意	□ 4. 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫
ハエ   ウ夫	□ 5. 設備工事における加工や組立等又は、電気工事の配線や配管等に関する工夫
にに	□ 6. 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫
よお	□ 7. 照明などの視界の確保に関する工夫
りい	□ 8.仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫
特て	□ 9.運搬車両・施工機械等に関する工夫
筆は	□ 10.支保工、型枠工、足場工、仮桟橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫
すっ ベエ	□ 11.盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫。
き事	□ 12.施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫。
便特	□ 13.出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫。
益性	□ 14.施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫。
がニ	□ 15.ICT(情報通信技術)を活用した情報化施工を取り入れた工事。
あの	□ 16.特殊な工法や材料を用いた工事。
れ考	□ 17.優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事。
ば査 記項	
載目	
すに	
るお	
° \ \	
<b>₹</b>	
   評   価	□品質関係
11111 す	□ 22.土工、設備、電気の品質向上に関する工夫。
。 る	□ 23.コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。
ほ	□ 24.鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。
ど	□ 25.配筋、溶接作業等に関する工夫。
で	□ 安全衛生関係
は	□ 26.建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育を実施している。
ない	□ 27.安全を確保するための仮設備等に関する工夫。(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等)
が	□ 28.安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等に関する工夫。
<i>13</i>	□ 29.現場事務所、労務者宿舎等の空間及び設備等に関する工夫。
企	□ 30.有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。
業	□ 31.一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。
0)	□ 32.厳しい作業環境の改善に関する工夫。
工	□ 33.環境保全に関する工夫。

### 提出様式-1

### 工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況

□ 社会性等	□ 地域への貢献等
※工事の施工に	□ 1. 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。
伴って、地域社会	
や住民に対する配	□ 3. 定期的に広報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。
慮等の貢献につ いて記載する。	□ 4. 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。
マー く 印し事人 ケーシ。	□ 5. 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。
	□ 6. 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。
	□ 7. その他

- 1. 該当する項目の□にチェックする。
- 2. 具体的内容の説明として、写真・ポンチ絵等を添付する。

## 提出様式-2

# 工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況(説明資料)

工事名		/
項目	評価内容	
提案内容		
(説明)		
(添付図)		
(13.11.4 )		

説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別様とする。